

令和6年度(3学年用)年間授業計画 都立農業高等学校全日制課程

教科		国語		単位数	年間授業時数(予定:単位数×35時間)				
科目		文学国語		3	105時間				
対象学年組 第3学年全組									
使用教科書 三省堂「文学国語」									
科目:「文学国語」の目標, 評価方法									
		【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】		【学びに向かう力、人間性等】			
目標		実社会に必要な国語の基本的な知識や技能を文学的な作品を通して身に付ける。		「知的好奇心と想像力の育成」という目標のもと、感性を駆使して文学作品の解釈と鑑賞をめざす。文学作品の登場人物の心情やテーマを読み取る力を養うことをめざす。		作品を生み出した作家について深く学ぶとともに、なぜその作品が書かれたのか、作者にとって作品がどのような意味を持つのか等を主体的に調べ、発表しようとする。			
評価方法		定期テスト 小テスト レポート ワークシート		定期テスト(論述問題など) 小テスト レポート ワークシート 観察(学習状況、討論・発表など) 学習の振り返り		ワークシート 観察(学習状況、討論・発表、行動観察、授業中の発言など) 生徒による自己評価や相互評価 学習の振り返り			
学期	通し番号	配当時数	定期 考査 範囲	単元名・目標	指導項目・内容	領域			評価基準 (おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述)
						話・聞	書	読	
1	単元1	18	中間	【単元名】小説 【目標】 登場人物の会話と字の文の關係に着目して、人物像を明確に把握する。小説のテーマを捉え、それぞれの人生(生き方)に反映させる。	・指導事項 登場人物の心理変化また人物像を明確に読み解く。 ・教材 「山月記」	○	○	○	【知識・技能】 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。・文学的な文章を読むことを通して、日本の言語文化の特徴について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、解釈している。・作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・進んで文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深め、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して解釈しようとしている。
1	単元2	21	期末	【単元名】詩歌 【目標】 日常生活の中で感じたことをもとに短歌を創作する。教科書の作品を中心に、詠まれた情景や心情を理解する。	・指導事項 想像力を駆使してオリジナル作品を創作する。 ・教材 「短歌を創作する」「短歌十五首」(＋現代若者短歌の紹介)	○	○	○	【知識・技能】 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 【思考・判断・表現】 ・文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にすること。作品を創作する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して語感を磨き語彙を豊かにし、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にしようとしている。歌会を実施する。
2	単元3	15	中間	【単元名】小説 【目標】 登場人物の会話と字の文の關係に着目して、人物像を明確に把握する。小説のテーマを捉え、それぞれの人生(生き方)に反映させる。	・指導事項 登場人物の心理変化また人物像を明確に読み解く。 ・教材 「ひよこの眼」	○	○	○	【知識・技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・進んで言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解し、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ解釈の多様性について考察しようとしている。

2	単元4	10	中間	<p>【単元名】小説の言葉・詩の言葉</p> <p>【目標】 物語の力について考える。詩の言葉の特徴を理解する。</p>	<p>・指導事項 物語の力について。詩という表現の意義。</p> <p>・教材 「夜中の汽笛について、あるいは物語の効用について」「詩はいつでも近いところにある」</p>	○	○	○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。・読書の意義と効用について理解を深めている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。・人間や社会また自然に対する見方、感じ方、考え方を深めている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで言葉には想像や心情を豊かにする働きがあることを理解し、文章の種類を踏まえて内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えようとしている。
2	単元5	13	期末	<p>【単元名】詩歌</p> <p>【目標】 表現形式や修辞の効果に着目し、それぞれの詩の理解を深める。</p>	<p>・指導事項 詩の展開について。詩の主題について。詩とは何か。</p> <p>・教材 「今日」「わたしを束ねないで」「帰途」</p>	○	○	○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深める。・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章の理解を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。・他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで言葉には想像や心情を豊かにする働きがあることを理解し、文章の種類を踏まえて内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えようとしている。
2	単元6	13	期末	<p>【単元名】翻案</p> <p>【目標】 翻案小説の魅力について考える。</p>	<p>・指導事項 翻案小説の意義また魅力について。</p> <p>・教材 「ありとぎりぎりす」「セミとアリ」</p>	○	○	○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深める。・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章の理解を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。・他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで言葉には想像や心情を豊かにする働きがあることを理解し、文章の種類を踏まえて内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えようとしている。
3	単元7	15	期末	<p>【単元名】小説</p> <p>【目標】 事物の描写に着目して、「私」の心情を理解する。</p>	<p>・指導事項 短編小説の意義また魅力について。</p> <p>・教材 「檸檬」</p>	○	○	○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。・短編小説を通して言語文化の特質について理解を深める。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。・作品を通してものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や解釈を考える。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉には想像や心情を豊かにする働きがあることを理解し、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえて解釈の多様性について考察しようとしている。

令和6年度(3学年用)年間授業計画 都立農業高等学校全日制課程

教科		地歴公民科		単位数	年間授業時数(予定:単位数×35時間)	
科目		地理総合		2	70時間	
対象学年組 第3学年						
使用教科書						
科目:「地理総合」の目標, 評価方法						
		【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】		【学びに向かう力、人間性等】
目標		地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技術を身につける。		地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して、多面的・多角的に考察し、表現する。		地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについて自覚などを深める。
評価方法		定期テスト 小テスト レポート ワークシート		定期テスト(論述問題など) 小テスト レポート ワークシート 観察(学習状況, 討論・発表など) 学習の振り返り		ワークシート 観察(学習状況, 討論・発表、行動観察、授業中の発言など) 生徒による自己評価や相互評価 学習の振り返り
学期	通し番号	配当時数	定期 考査 範囲	単元名・目標	指導項目・内容	評価基準 (おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述)
1	単元1	3	中間	1章 地図や地理情報システムと現代世界 ・地球儀と地図 ・地図と地理情報システム	・地球儀や様々な図法の地図から現代世界の姿を読み取ることができる。地図や地理情報システムの役割や有用性を理解する。 ・各種地図の特徴、地図や地理情報システムはどのように利用できるかについて、多面的・多角的に考察し、表現することができる。 ・目的に応じた地図や地理情報システムの利用方法について、主体的に課題を見出す。	・地球儀や様々な図法の地図から現代世界の姿を読み取ることができる。地図や地理情報システムの役割や有用性を理解できる。 ・各種地図の特徴、地図や地理情報システムはどのように利用できるかについて、多面的・多角的に考察し、表現することができる。 ・目的に応じた地図や地理情報システムの利用方法について、主体的に課題を見出すことができる。
1	単元2	10	中間	2章 結びつきを深める現在世界 ・現代世界の国家と領域 ・地図から見る国内や国家間の結びつき	・世界を構成する国家の領域の定め方や、地図を通して世界の国々の結びつき、人の移動の特徴を理解する。 ・地図を読み解く技術を身につける。 ・国家の領域がどのように定められており、どのような領土問題があるかについて、地図を通して多面的・多角的に考察し、表現する。 ・国家の領域の定め方や領土問題、世界の国々の結びつきについて、地図を通して主体的に追究し課題を見出す。	・世界を構成する国家の領域の定め方や、地図を通して世界の国々の結びつき、人の移動の特徴を理解できる。 ・地図を読み解く技術を身につける。 ・国家の領域がどのように定められており、どのような領土問題があるかについて、地図を通して多面的・多角的に考察し、表現することができる。 ・国家の領域の定め方や領土問題、世界の国々の結びつきについて、地図を通して主体的に追究し課題を見出すことができる。

1	単元 3	16	期末	<ul style="list-style-type: none"> 生活文化の多様性と国際理解 世界の地形と人々の生活 世界の気候と人々の生活 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の多様な文化が自然環境や社会環境を背景に相互に影響を及ぼしあいながら形成されてきたことを理解する。 地形や気候、産業とその発展、歴史との結びつきに着目しながら、世界の生活文化の多様性がどのように形成されてきたかについて、多面的・多角的に表現する。 世界の多様な生活文化を尊重し、共生を図っていくことについて、主体的に追求し課題を見出す。 				<ul style="list-style-type: none"> 世界の多様な文化が自然環境や社会環境を背景に相互に影響を及ぼしあいながら形成されてきたことを理解できる。 地形や気候、産業とその発展、歴史との結びつきに着目しながら、世界の生活文化の多様性がどのように形成されてきたかについて、多面的・多角的に表現することができる。 世界の多様な生活文化を尊重し、共生を図っていくことについて、主体的に追求し課題を見出すことができる。
1	単元 4	13	中間	<ul style="list-style-type: none"> 世界の宗教・民族・言語と人々の生活 宗教と歴史 伝統の継承と生活文化の関わり 	<ul style="list-style-type: none"> 宗教や言語といった文化が、どのような歴史を通して形成されてきたか、人々の生活にどのような影響を与えてきたことについて理解する。 世界の民族やその歴史に着目しながら、その特徴を多面的・多角的に考察し、表現する。 宗教や言語、歴史といった文化が各民族を特徴づけ、人々の生活を形作ってきたことについて、主体的に考察し課題を見出している。 				<ul style="list-style-type: none"> 宗教や言語といった文化が、どのような歴史を通して形成されてきたか、人々の生活にどのような影響を与えてきたことについて理解することができる。 世界の民族やその歴史に着目しながら、その特徴を多面的・多角的に考察し、表現することができる。 宗教や言語、歴史といった文化が各民族を特徴づけ、人々の生活を形作ってきたことについて、主体的に考察し課題を見出すことができる。
2	単元 5	15	期末	<ul style="list-style-type: none"> 地球的課題と国際協力 複雑に絡み合う地球的課題 	<ul style="list-style-type: none"> 地球的課題が生じている場所や要因、課題どうしが相互に関係しあっていることを理解する。 地球的課題がどこで、どのように生じているか、また解決のためにどのような取り組みがなされているかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。 持続可能な開発を実現するために必要な取り組みや国際協力のあり方について、主体的に追究し、課題を見出す。 				<ul style="list-style-type: none"> 地球的課題が生じている場所や要因、課題どうしが相互に関係しあっていることを理解できる。 地球的課題がどこで、どのように生じているか、また解決のためにどのような取り組みがなされているかについて、多面的・多角的に考察し、表現することができる。 持続可能な開発を実現するために必要な取り組みや国際協力のあり方について、主体的に追究し、課題を見出すことができる。
3	単元 6	13	学年末	<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な地域づくりと私たち 自然環境と防災 生活圏の調査と地域の展望 	<ul style="list-style-type: none"> 自然災害が生じる場所や要因、日本の自然災害の特徴、生活の中にみられる防災・減災への取り組みを理解する。 どのような自然災害がどのような場所で生じるかや、日本の自然災害にはどのような特徴があるのか、どのような防災・減災への取り組みがなされるかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。 自然環境には災害と恩恵の両側面があり、人々が生活していくうえで必要な防災・減災に向けた備えについて、主体的に追究し課題を見出す。 				<ul style="list-style-type: none"> 自然災害が生じる場所や要因、日本の自然災害の特徴、生活の中にみられる防災・減災への取り組みを理解することができる。 どのような自然災害がどのような場所で生じるかや、日本の自然災害にはどのような特徴があるのか、どのような防災・減災への取り組みがなされるかについて、多面的・多角的に考察し、表現することができる。 自然環境には災害と恩恵の両側面があり、人々が生活していくうえで必要な防災・減災に向けた備えについて、主体的に追究し課題を見出すことができる。

令和6年度(3学年用)年間授業計画 都立農業高等学校全日制課程

教科		地歴公民科		単位数	年間授業時数(予定・単位数×35時間)	
科目		世界史探究		2	70時間	
対象学年組 3学年1～4組						
使用教科書 実教出版「世界史探究」						
科目:「世界史探究」の目標, 評価方法						
		【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】		【学びに向かう力、人間性等】
目標		世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸現象について、地理的な条件や日本の歴史と関連づけながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、技能を身につけるようにする。		世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる現象の意味や意義などを、相互の関連や現代社会とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察し、歴史的な課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。		世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸現象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、様々な国の歴史や文化を尊重することの大切さについて自覚などを深める。
評価方法		定期テスト 小テスト レポート ワークシート		定期テスト(論述問題など) 小テスト レポート ワークシート 観察(学習状況、討論・発表など) 学習の振り返り		ワークシート 観察(学習状況、討論・発表、行動観察、授業中の発言など) 生徒による自己評価や相互評価 学習の振り返り
学期	通し番号	配当 時数	定期 考査 範囲	単元名・目標	指導項目・内容	評価基準 (おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述)
1	単元1	4	中間	<p>【単元名】 世界史へのまなざし 第1部諸地域の歴史的特質の形成 第1章古代文明(オリエント・インダス・中国)</p> <p>【目標】 オリエント文明、インダス文明、中国文明などを基に、古代文明の歴史的特質を理解する。 古代文明に関わる諸現象の背景や原因、結果や影響、事象相互関係などを読み取り、関連性や意義を多面的・多角的に考察し、表現する。 古代文明の歴史的特質について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする。</p>	<p>・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用等</p>	<p>【知識・技能】 オリエント文明、インダス文明、中国文明などを基に、古代文明の歴史的特質を理解することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 古代文明に関わる諸現象の背景や原因、結果や影響、事象相互関係などを読み取り、関連性や意義を多面的・多角的に考察し、表現することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 古代文明の歴史的特質について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする。</p>
1	単元2	8	中間	<p>【単元名】 第1部諸地域の歴史的特質の形成 第4章西アジアと地中海周辺(ギリシア)</p> <p>【目標】 西アジアと地中海周辺の諸国家などをもとに、西アジアと地中海周辺の歴史的特質を理解する。 西アジアと地中海周辺の歴史に関わる諸現象の背景や原因、結果や影響、事象相互関係などを読み取り、関連性や意義を多面的・多角的に考察し、表現する。 西アジアと地中海周辺の歴史的特質について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする。</p>		<p>【知識・技能】 西アジアと地中海周辺の諸国家などをもとに、西アジアと地中海周辺の歴史的特質を理解することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 西アジアと地中海周辺の歴史に関わる諸現象の背景や原因、結果や影響、事象相互関係などを読み取り、関連性や意義を多面的・多角的に考察し、表現することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 西アジアと地中海周辺の歴史的特質について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする。</p>

1	単元3	8	期末	<p>【単元名】 第1部諸地域の歴史的特質の形成 第4章西アジアと地中海周辺(ローマ)</p> <p>【目標】 西アジアと地中海周辺の諸国家などをもとに、西アジアと地中海周辺の歴史的特質を理解する。西アジアと地中海周辺の歴史に関わる諸現象の背景や原因、結果や影響、事象相互関係などを読み取り、関連性や意義を多面的・多角的に考察し、表現する。西アジアと地中海周辺の歴史的特質について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする。</p>					<p>【知識・技能】 西アジアと地中海周辺の諸国家などをもとに、西アジアと地中海周辺の歴史的特質を理解することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 西アジアと地中海周辺の歴史に関わる諸現象の背景や原因、結果や影響、事象相互関係などを読み取り、関連性や意義を多面的・多角的に考察し、表現することができる。</p> <p>【主体的に学習する態度】 西アジアと地中海周辺の歴史的特質について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとするすることができる。</p>
1	単元4	10	中間	<p>【単元名】 第5章西アジア・地中海周辺の変動とヨーロッパの形成</p> <p>【目標】 キリスト教とイスラーム教の成立とそれらを基盤とした国家の形成などをもとに、西アジアと地中海周辺、ヨーロッパの歴史的特質を理解する。西アジアと地中海周辺、ヨーロッパの歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のかかわりなどを読み取り、関連性や意義を多面的・多角的に考察し、表現する。西アジアと地中海周辺、ヨーロッパの歴史的特質について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする。</p>					<p>【知識・技能】 キリスト教とイスラーム教の成立とそれらを基盤とした国家の形成などをもとに、西アジアと地中海周辺、ヨーロッパの歴史的特質を理解することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 西アジアと地中海周辺、ヨーロッパの歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のかかわりなどを読み取り、関連性や意義を多面的・多角的に考察し、表現することができる。</p> <p>【主体的に学習する態度】 西アジアと地中海周辺、ヨーロッパの歴史的特質について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとするすることができる。</p>
2	単元5	15	中間	<p>【単元名】 第2部諸地域の交流と再編 第6章イスラーム圏の拡大とヨーロッパ社会の変容</p> <p>【目標】 西アジア社会の動向とアフリカ・アジアへのイスラームの伝播、ヨーロッパ封建社会とその展開を基に、海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを構造的に理解する。西アジア社会の動向とアフリカ・アジアの相互関連に着目して、主題を設定し、諸資料を比較したり、関連付けたりして読み解き、諸地域の特色を多面的・多角的に考察し、表現する。西アジア社会の動向とイスラームの伝播、ヨーロッパ封建社会とその展開について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする。</p>					<p>【知識・技能】 西アジア社会の動向とアフリカ・アジアへのイスラームの伝播、ヨーロッパ封建社会とその展開を基に、海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを構造的に理解することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 西アジア社会の動向とアフリカ・アジアの相互関連に着目して、主題を設定し、諸資料を比較したり、関連付けたりして読み解き、諸地域の特色を多面的・多角的に考察し、表現することができる。</p> <p>【主体的に学習する態度】 西アジア社会の動向とイスラームの伝播、ヨーロッパ封建社会とその展開について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとすることができる。</p>

2	単元 6	15	期末	<p>【単元名】 第7章中央ユーラシアと諸地域の交流と再編 第8章大交易時代</p> <p>【目標】 宋の社会とモンゴル帝国の拡大などを基に、海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを構造的に理解する。 宋の社会とモンゴル帝国の拡大などに関わる諸現象の背景や原因、結果や影響、事象相互関係などを読み取り、関連性や意義を多面的・多角的に考察し、表現する。 宋の社会とモンゴル帝国の拡大について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする。</p>					<p>【単元名】 第7章中央ユーラシアと諸地域の交流と再編 第8章大交易時代</p> <p>【目標】 宋の社会とモンゴル帝国の拡大などを基に、海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを構造的に理解することができる。 宋の社会とモンゴル帝国の拡大などに関わる諸現象の背景や原因、結果や影響、事象相互関係などを読み取り、関連性や意義を多面的・多角的に考察し、表現することができる。 宋の社会とモンゴル帝国の拡大について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする。</p>
3	単元 7	10	期末	<p>【単元名】 第17章世界経済の展開</p> <p>【目標】 現代社会における様々な問題を基に、経済グローバル化における格差などの諸問題を構造的に理解する。 国際競争の展開と経済格差などに関わる諸現象の背景や原因、結果や影響、事象相互関係などを読み取り、関連性や意義を多面的・多角的に考察し、表現する。 国際競争の展開と経済格差などについて、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする。</p>					<p>【知識・技能】 現代社会における様々な問題を基に、経済グローバル化における格差などの諸問題を構造的に理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 国際競争の展開と経済格差などに関わる諸現象の背景や原因、結果や影響、事象相互関係などを読み取り、関連性や意義を多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【主体的に学習する態度】 国際競争の展開と経済格差などについて、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする。</p>

令和6年度(3学年用)年間授業計画 都立農業高等学校全日制課程

教科		地歴公民科		単位数	年間授業時数(予定:単位数×35時間)	
科目		政治・経済		2	70時間	
対象学年組 3学年1～4組						
使用教科書 東京書籍 政治・経済						
科目:「政治・経済」の目標, 評価方法						
		【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】		【学びに向かう力、人間性等】
目標		社会の在り方に関する現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関する情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。		国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したこととの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かうことができる。		よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される。国民権を担う公民として、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚を深められる。
評価方法		定期テスト レポート ワークシート		定期テスト(論述問題など) レポート ワークシート 観察(学習状況、討論・発表など) 学習の振り返り		ワークシート 観察(学習状況、討論・発表、行動観察、授業中の発言など) 生徒による自己評価や相互評価 学習の振り返り
学期	通し番号	配当 時数	定期 考査 範囲	単元名・目標	指導項目・内容	評価基準 (おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述)
1	単元 1	20	期末	<p>【単元名】 現代日本の政治</p> <p>【目標】 社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代日本の政治に関する諸課題について多面的・多角的に考察したり、解決に向けて構想したりする活動を通して、現代日本の政治に関する概念や理論などを理解するとともに、課題を意欲的に追究する。</p>	<p>・民主政治の基本原則、日本の政治機構(主に裁判のしくみ、地方自治など)</p> <p>・教材</p> <p>・一人1台端末の活用等</p>	<p>【知識・技能】 民主政治への道のりと現代の民主政治、法と民主政治、基本的人権の確立と国際化、世界のおもな政治体制について理解している。</p> <p>司法権の独立の必要性や裁判のしくみ、地方自治の運営と住民の権利について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 法や人権、少数派等の観点に着目し、よりよい民主政治を実現するにはどのようなことが必要かを考察している。</p> <p>裁判所、地方自治それぞれで行われた改革に着目し、日本の政治機構にはどのような課題があり、どうすればそれを解決できるかを考察している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 指導事項の学習を通して、現代日本の政治に関する概念や理論などを理解するとともに、課題を意欲的に追究しようとしている。</p>
1 ~ 2	単元 2	20	期末	<p>【単元名】 現代日本の経済</p> <p>【目標】 社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代日本の政治に関する諸課題について多面的・多角的に考察したり、解決に向けて構想したりする活動を通して、現代日本の経済に関する概念や理論などを理解するとともに、課題を意欲的に追究する。</p>	<p>・経済活動の特徴、経済主体と経済の循環、国民所得と経済成長、金融、財政</p> <p>・教材</p> <p>・一人1台端末の活用等</p>	<p>【知識・技能】 経済活動の特徴、経済主体と経済の循環、国民所得と経済成長、金融、財政について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 資本主義経済が今日の世界経済の主体となった理由や、起業、市場経済、国民所得、金融、財政などに着目し、現代社会はどのようなしくみで、どのような課題を抱えているかを考察している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 指導事項の学習を通して、現代日本の経済に関する概念や理論などを理解するとともに、課題を意欲的に追究しようとしている。</p>

2	単元 3	15	学 年 末	<p>【単元名】 現代の国際政治・経済</p> <p>【目標】 社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の国際政治・経済に関わる諸課題について多面的・多角的に考察したり、解決に向けて構想したりする活動を通して、現代の国際政治・経済に関わる概念や理論などを理解できるようにするとともに、国際平和と人類の福祉に寄与しようとする。</p>	<p>・国際連合の役割、第二次世界大戦後の国際関係の展開と日本、自由貿易と国際分業、グローバル化する世界経済、人口・食糧問題</p> <p>・教材</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 国際連合の役割、第二次世界大戦後の国際関係の展開と日本、自由貿易と国際分業、グローバル化する世界経済、人口・食糧問題について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 国際社会のさまざまなルールに着目して、国際社会における利害調整や紛争解決がどのように行われているか考察している。</p> <p>自由貿易化や国際的な経済格差の現状を踏まえて、世界の人々のより豊かな生活を実現するためにはどのようにすればよいか考察している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 指導事項の学習を通して、国際に関わる概念や理論などを理解するとともに、課題を意欲的に追究しようとしている。</p>
3	単元 4	15	学 年 末	<p>【単元名】 現代日本及び国際社会の諸課題</p> <p>【目標】 社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、習得した概念や理論などを活用しながら、他者と協働して持続可能な社会の形成が求められる日本の政治・経済及び国際社会の諸課題の解決に向け、多面的・多角的に考察したり構想したりする活動を通して、よりよい社会の在り方についての考えを説明、論述し、合意形成や社会参画に向かおうとしている。</p>	<p>・各自の探究的な学び</p> <p>・教材</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【思考・判断・表現】 社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、習得した概念や理論などを活用しながら、他者と協働して持続可能な社会の形成が求められる日本の政治・経済及び国際社会の諸課題の解決に向け、考察している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 日本の政治・経済及び国際社会の諸課題の解決に向け、多面的・多角的に考察したり構想したりする活動を通して、よりよい社会の在り方についての考えを説明、論述し、合意形成や社会参画に向かおうとしている。</p>

令和6年度(3学年用)年間授業計画 都立農業高等学校全日制課程

教科		理科		単位数	年間授業時数(予定:単位数×35時間)	
科目		物理基礎		2	70時間	
対象学年組 第3学年1組、2組、3組、4組、5組						
使用教科書 高等学校 新物理基礎(第一学習社)						
科目:「物理基礎」の目標, 評価方法						
		【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】		【学びに向かう力、人間性等】
目標		自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。		自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。		自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。
評価方法		定期テスト 小テスト レポート ワークシート		定期テスト(論述問題など) 小テスト レポート ワークシート 観察(学習状況、討論・発表など) 学習の振り返り		ワークシート 観察(学習状況、討論・発表、行動観察、授業中の発言など) 生徒による自己評価や相互評価 学習の振り返り
学期	通し番号	配当時数	定期 考査 範囲	単元名・目標	指導項目・内容	評価基準 (おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述)
1	単元1	12	中間	【単元名】 物体の運動 【目標】 ・物体の変位や速度などの表し方について、直線運動を中心に理解する。 ・直線上を運動している物体の合成速度や相対速度を考える。 ・物体の加速度を理解し、等加速度直線運動について式やグラフで考える。 ・物体が空中を落下するときの運動を調べ、その特徴を理解する。 ・自由落下や鉛直投射について、式やグラフを用いて考える。	・講義 ・ワークシート(授業プリント、ドリル) ・実験レポート ・定期考査	【知識・技能】 物体の運動についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 物体の運動の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 物体の運動に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。
1	単元2	11	期末	【単元名】 力と運動の法則 【目標】 ・物体にさまざまな力がはたらくことを理解する。 ・物体にはたらく力の合成・分解をベクトルを用いて扱い、つりあいについて理解を深める。 ・作用・反作用の法則を扱い、つりあう2力との違いを理解する。 ・運動の3法則について、観察や実験を通して理解する。 ・運動方程式の立て方について学習し、さまざまな運動状態における運動方程式の立て方を理解する。 ・摩擦力の特徴を理解し、それを含めた運動について理解する。 ・水圧と浮力の関係について理解する	・講義 ・ワークシート(授業プリント、ドリル) ・実験レポート ・定期考査	【知識・技能】 力と運動の法則についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 力と運動の法則の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 力と運動の法則に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。

2	単元3	8	中間	<p>【単元名】 仕事と力学的エネルギー</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仕事, 仕事の原理, 仕事率を学習し, 物理における「仕事」について理解する。 ・ 運動エネルギーと仕事の関係について, 式を用いて理解する。 ・ 位置エネルギーについて, 仕事と関連づけて理解する。 ・ 力学的エネルギーの保存について実験などを通して学習し, 法則が成り立つ条件とともに理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講義 ・ ワークシート(授業プリント、ドリル) ・ 実験レポート ・ 定期考査 					<p>【知識・技能】</p> <p>仕事と力学的エネルギーについての理解を深め, 科学的に探究するために必要な観察, 実験などに関する技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>仕事と力学的エネルギーの中に問題を見だし, 見通しをもって観察, 実験などを行い, 科学的に探究する力を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>仕事と力学的エネルギーに主体的に関わり, 科学的に探究しようとする態度を身に付けている。</p>
2	単元4	8	中間	<p>【単元名】 熱とエネルギー</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 熱運動, セルシウス温度, 絶対温度を学習し, 温度について理解する。 ・ 熱と熱量を学習したのち, 熱平衡, 比熱, 熱容量, 熱量の保存について理解する。 ・ 熱量の保存を利用し, 物質の比熱を測定する。 ・ 物質の三態について熱運動と関連づけて理解し, 熱膨張の現象を知る。 ・ 熱と仕事 that 同等であることを学習し, 内部エネルギー, 熱力学の第1法則を理解する。 ・ 熱機関と熱効率を学習し, 可逆変化と不可逆変化について理解する。 ・ ささまざまなエネルギーの移り変わりを学習したのち, エネルギーの保存について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講義 ・ ワークシート(授業プリント、ドリル) ・ 実験レポート ・ 定期考査 					<p>【知識・技能】</p> <p>熱とエネルギーについての理解を深め, 科学的に探究するために必要な観察, 実験などに関する技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>熱とエネルギーの中に問題を見だし, 見通しをもって観察, 実験などを行い, 科学的に探究する力を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>熱とエネルギーに主体的に関わり, 科学的に探究しようとする態度を身に付けている。</p>
2	単元5	7	期末	<p>【単元名】 波の性質</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 波の伝わり方について理解し, 振動数と周期の関係を学習する。 ・ 正弦波と波, 振幅, 波長, 周期, 振動数など, 波の基本的な要素について理解する。 ・ 一定の時間経過によって移動した波について, 波形を作図できるようにする。 ・ 横波, 縦波の特徴や, 縦波の横波表示について理解する。 ・ 波動実験器を用いた観察などを通して, 重ねあわせの原理と波の独立性について理解する。 ・ 重なりあった波の作図などを通して, 定常波が生じるしくみを理解する。 ・ パルス波の反射, 正弦波の反射について, 反射の仕方, 反射波と合成波の作図の仕方を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講義 ・ ワークシート(授業プリント、ドリル) ・ 実験レポート ・ 定期考査 					<p>【知識・技能】</p> <p>波の性質についての理解を深め, 科学的に探究するために必要な観察, 実験などに関する技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>波の性質の中に問題を見だし, 見通しをもって観察, 実験などを行い, 科学的に探究する力を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>波の性質に主体的に関わり, 科学的に探究しようとする態度を身に付けている。</p>

2	単元6	7	期末	<p>【単元名】 音波</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 音波の伝わり方を学習し、空気中における音速と温度の関係を理解する。 音の3要素(音の高さ、大きさ、音色)について、音波の波形の特徴を理解する。 身近な現象と関連させ、音の反射について理解する。 うなりが生じるしくみを理解し、うなりの回数を計算することができる。 共振、共鳴の現象について理解する。 弦に生じる振動の特徴を学習し、波の波長、振動数の関係を式を用いて理解する。 気柱に生じる振動の特徴を学習し、波の波長、振動数の関係を式を用いて理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 講義 ワークシート(授業プリント、ドリル) 実験レポート 定期考査 				<p>【知識・技能】</p> <p>音波についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>音波の中に問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>音波に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。</p>
3	単元7	7	学年末	<p>【単元名】 電荷と電流</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 静電気現象を学習し、帯電のしくみについて理解する。 電流や電圧とは何かを学習し、オームの法則について理解する。 ニクロム線などの物質の抵抗と形状の関係について測定し、抵抗率を導入する。 抵抗の直列接続、並列接続における特徴を踏まえ、合成抵抗を理解する。 ジュールの法則を扱い、電力量と電力について理解する。 電気回路の実験において、電流計と電圧計の接続の仕方を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 講義 ワークシート(授業プリント、ドリル) 実験レポート 定期考査 				<p>【知識・技能】</p> <p>電荷と電流についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>電荷と電流の中に問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>電荷と電流に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。</p>
3	単元8	5	学年末	<p>【単元名】 電流と磁場</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 電流がつくる磁場について理解する。 モーターが回転するしくみ、発電機で電気が生じるしくみを理解する。 直流と交流の違いを知り、交流の性質を踏まえ、変圧器や送電について理解する。 電磁波の発生、電磁波の分類について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 講義 ワークシート(授業プリント、ドリル) 実験レポート 定期考査 				<p>【知識・技能】</p> <p>電流と磁場についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>電流と磁場の中に問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>電流と磁場に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。</p>
3	単元9	5	学年末	<p>【単元名】 エネルギーとその利用</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 太陽エネルギーと化石燃料の特徴について学習し、エネルギーの流れや問題点などを理解する。 放射線の種類とその性質を学習し、原子力発電についてのメリットとデメリットを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 講義 ワークシート(授業プリント、ドリル) 実験レポート 定期考査 				<p>【知識・技能】</p> <p>エネルギーとその利用についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>エネルギーとその利用の中に問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>エネルギーとその利用に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。</p>

令和6年度(3学年用)年間授業計画 都立農業高等学校全日制課程

教科		保健体育		単位数	年間授業時数(予定:単位数×35時間)	
科目		体育		3	105時間	
対象学年組 第3学年1組～5組男子						
使用教科書 現代高等学校保健体育						
科目:「体育」の目標, 評価方法						
		【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】		【学びに向かう力、人間性等】
目標		運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようになるため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。		生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて試行し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。		運動における競争や協働の経験を通して、後世に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。
評価方法		観察(技能など) テスト レポート		観察(学習、ペア・グループ活動など) テスト レポート		観察(学習、ペア・グループ活動など) 生徒による自己評価や相互評価
学期	通し番号	配当時数	定期 考査 範囲	単元名・目標	指導項目・内容	評価基準 (おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述)
1	単元1	3	中間・期末	【単元名】 体育理論・オリエンテーション 【目標】 運動時のルールや行い方の理解を深め、運動を他者と協働的に行うために自らの役割を果たせるようにする。	・授業オリエンテーション ・教材、1台端末の活用方法 ・各種目実施上の留意点	【知識・技能】 ルールや競技特性を理解している。 技能習得に向け継続的な努力を実施している。 集団に対して貢献する姿勢 【思考・判断・表現】 技能習得に対し自ら工夫をしている。 基礎体力向上に向け、課題を設定できる。 客観的に自分を判断し、目標を設定している。 【主体的に学習に取り組む態度】 "ねばり強い"気持ちを持ち、精神力・持久力を高めようとしている。 集団の中の自分を分析し課題を設定し取り組んでいる。
1	単元2	8	中間・期末	【単元名】 スポーツテスト 【目標】 自分の体力の現状を把握し、自ら課題を設定し、基礎体力の向上をねらう。	・ルールや競技特性 ・基本的な個人技能 ・基本的な集団技能	【知識・技能】 ルールや競技特性を理解している。 技能習得に向け継続的な努力を実施している。 集団に対して貢献する姿勢 【思考・判断・表現】 技能習得に対し自ら工夫をしている。 基礎体力向上に向け、課題を設定できる。 客観的に自分を判断し、目標を設定している。 【主体的に学習に取り組む態度】 "ねばり強い"気持ちを持ち、精神力・持久力を高めようとしている。 集団の中の自分を分析し課題を設定し取り組んでいる。
1	単元3	12	中間・期末	【単元名】 陸上競技・ダンス・体育祭種目練習 【目標】 ルールや技能の理解を深め、基本的な技能の習得と集団における自らの役割を果たせるようにする。	・ルールや競技特性 ・基本的な個人技能 ・基本的な集団技能	【知識・技能】 ルールや競技特性を理解している。 技能習得に向け継続的な努力を実施している。 集団に対して貢献する姿勢 【思考・判断・表現】 技能習得に対し自ら工夫をしている。 基礎体力向上に向け、課題を設定できる。 客観的に自分を判断し、目標を設定している。 【主体的に学習に取り組む態度】 "ねばり強い"気持ちを持ち、精神力・持久力を高めようとしている。 集団の中の自分を分析し課題を設定し取り組んでいる。
1・2	単元4	18	中間・期末	【単元名】 水泳 【目標】 安全な入水方法を学び事故の防止の意識を高める。 クロールと平泳ぎの技能の習得	・ルールや競技特性 ・基本的な個人技能 ・基本的な集団技能	【知識・技能】 ルールや競技特性を理解している。 技能習得に向け継続的な努力を実施している。 集団に対して貢献する姿勢 【思考・判断・表現】 技能習得に対し自ら工夫をしている。 基礎体力向上に向け、課題を設定できる。 客観的に自分を判断し、目標を設定している。 【主体的に学習に取り組む態度】 "ねばり強い"気持ちを持ち、精神力・持久力を高めようとしている。 集団の中の自分を分析し課題を設定し取り組んでいる。

2	単元5	16	中間・期末	<p>【単元名】 バレーボール</p> <p>【目標】 ルールや技能の理解を深め、基本的な技能の習得と集団における自らの役割を果たせるようにする。</p>	<p>・ルールや競技特性 ・基本的な個人技能 ・基本的な集団技能</p>				<p>【知識・技能】 ルールや競技特性を理解している。 技能習得に向け継続的な努力を実施している。 集団に対して貢献する姿勢</p> <p>【思考・判断・表現】 技能習得に対し自ら工夫をしている。 基礎体力向上に向け、課題を設定できる。 客観的に自分を判断し、目標を設定している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 "ねばり強い"気持ちを持ち、精神力・持久力を高めようとしている。 集団の中の自分を分析し課題を設定し取り組んでいる。</p>
2	単元6	16	中間・期末	<p>【単元名】 テニス</p> <p>【目標】 ルールや技能の理解を深め、基本的な技能の習得と集団における自らの役割を果たせるようにする。</p>	<p>・ルールや競技特性 ・基本的な個人技能 ・基本的な集団技能</p>				<p>【知識・技能】 ルールや競技特性を理解している。 技能習得に向け継続的な努力を実施している。 集団に対して貢献する姿勢</p> <p>【思考・判断・表現】 技能習得に対し自ら工夫をしている。 基礎体力向上に向け、課題を設定できる。 客観的に自分を判断し、目標を設定している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 "ねばり強い"気持ちを持ち、精神力・持久力を高めようとしている。 集団の中の自分を分析し課題を設定し取り組んでいる。</p>
3	単元7	16	中間・期末	<p>【単元名】 球技選択</p> <p>【目標】 ルールや技能の理解を深め、基本的な技能の習得と集団における自らの役割を果たせるようにする。</p>	<p>・ルールや競技特性 ・基本的な個人技能 ・基本的な集団技能</p>				<p>【知識・技能】 ルールや競技特性を理解している。 技能習得に向け継続的な努力を実施している。 集団に対して貢献する姿勢</p> <p>【思考・判断・表現】 技能習得に対し自ら工夫をしている。 基礎体力向上に向け、課題を設定できる。 客観的に自分を判断し、目標を設定している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 "ねばり強い"気持ちを持ち、精神力・持久力を高めようとしている。 集団の中の自分を分析し課題を設定し取り組んでいる。</p>
3	単元8	16	中間・期末	<p>【単元名】 持久走</p> <p>【目標】 長い距離を走りきることで、精神力と持久力を高め、基礎体力の向上を目標とする。</p>	<p>・ルールや競技特性 ・基本的な個人技能 ・基本的な集団技能</p>				<p>【知識・技能】 ルールや競技特性を理解している。 技能習得に向け継続的な努力を実施している。 集団に対して貢献する姿勢</p> <p>【思考・判断・表現】 技能習得に対し自ら工夫をしている。 基礎体力向上に向け、課題を設定できる。 客観的に自分を判断し、目標を設定している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 "ねばり強い"気持ちを持ち、精神力・持久力を高めようとしている。 集団の中の自分を分析し課題を設定し取り組んでいる。</p>

令和6年度(3学年用)年間授業計画 都立農業高等学校全日制課程

教科	保健体育	単位数	年間授業時数(予定:単位数×35時間)
科目	体育	3	105時間

対象学年組 第3学年1組～5組女子

使用教科書 現代高等学校保健体育

科目:「体育」の目標, 評価方法

	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
目標	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようになるため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて試行し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、後世に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。
評価方法	観察(技能など) テスト レポート	観察(学習、ペア・グループ活動など) テスト レポート	観察(学習、ペア・グループ活動など) 生徒による自己評価や相互評価

学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	単元名・目標	指導項目・内容	評価基準 (おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述)					
1	単元1	3	中間・期末	【単元名】 体育理論・オリエンテーション 【目標】 運動時のルールや行い方の理解を深め、運動を他者と協働的に行うために自らの役割を果たせるようにする。	・授業オリエンテーション ・教材、1台端末の活用方法 ・各種目実施上の留意点	【知識・技能】 ルールや競技特性を理解している。 技能習得に向け継続的な努力を実施している。 集団に対して貢献する姿勢 【思考・判断・表現】 技能習得に対し自ら工夫をしている。 基礎体力向上に向け、課題を設定できる。 客観的に自分を判断し、目標を設定している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ”ねばり強い”気持ちを持ち、精神力・持久力を高めようとしている。 集団の中の自分を分析し課題を設定し取り組んでいる。					
1	単元2	8	中間・期末	【単元名】 スポーツテスト 【目標】 自分の体力の現状を把握し、自ら課題を設定し、基礎体力の向上をねらう。	・ルールや競技特性 ・基本的な個人技能 ・基本的な集団技能	【知識・技能】 ルールや競技特性を理解している。 技能習得に向け継続的な努力を実施している。 集団に対して貢献する姿勢 【思考・判断・表現】 技能習得に対し自ら工夫をしている。 基礎体力向上に向け、課題を設定できる。 客観的に自分を判断し、目標を設定している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ”ねばり強い”気持ちを持ち、精神力・持久力を高めようとしている。 集団の中の自分を分析し課題を設定し取り組んでいる。					
1	単元3	12	中間・期末	【単元名】 陸上競技・ダンス・体育祭種目練習 【目標】 ルールや技能の理解を深め、基本的な技能の習得と集団における自らの役割を果たせるようにする。	・ルールや競技特性 ・基本的な個人技能 ・基本的な集団技能	【知識・技能】 ルールや競技特性を理解している。 技能習得に向け継続的な努力を実施している。 集団に対して貢献する姿勢 【思考・判断・表現】 技能習得に対し自ら工夫をしている。 基礎体力向上に向け、課題を設定できる。 客観的に自分を判断し、目標を設定している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ”ねばり強い”気持ちを持ち、精神力・持久力を高めようとしている。 集団の中の自分を分析し課題を設定し取り組んでいる。					
1・2	単元4	18	中間・期末	【単元名】 水泳 【目標】 安全な入水方法を学び事故の防止の意識を高める。 クロールと平泳ぎの技能の習得	・ルールや競技特性 ・基本的な個人技能 ・基本的な集団技能	【知識・技能】 ルールや競技特性を理解している。 技能習得に向け継続的な努力を実施している。 集団に対して貢献する姿勢 【思考・判断・表現】 技能習得に対し自ら工夫をしている。 基礎体力向上に向け、課題を設定できる。 客観的に自分を判断し、目標を設定している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ”ねばり強い”気持ちを持ち、精神力・持久力を高めようとしている。 集団の中の自分を分析し課題を設定し取り組んでいる。					

2	単元5	16	中間・期末	<p>【単元名】ソフトボール</p> <p>【目標】ルールや技能の理解を深め、基本的な技能の習得と集団における自らの役割を果たせるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールや競技特性 ・基本的な個人技能 ・基本的な集団技能 				<p>【知識・技能】ルールや競技特性を理解している。技能習得に向け継続的な努力を実施している。集団に対して貢献する姿勢</p> <p>【思考・判断・表現】技能習得に対し自ら工夫をしている。基礎体力向上に向け、課題を設定できる。客観的に自分を判断し、目標を設定している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】”ねばり強い”気持ちを持ち、精神力・持久力を高めようとしている。集団の中の自分を分析し課題を設定し取り組んでいる。</p>
2	単元6	16	中間・期末	<p>【単元名】卓球</p> <p>【目標】ルールや技能の理解を深め、基本的な技能の習得と集団における自らの役割を果たせるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールや競技特性 ・基本的な個人技能 ・基本的な集団技能 				<p>【知識・技能】ルールや競技特性を理解している。技能習得に向け継続的な努力を実施している。集団に対して貢献する姿勢</p> <p>【思考・判断・表現】技能習得に対し自ら工夫をしている。基礎体力向上に向け、課題を設定できる。客観的に自分を判断し、目標を設定している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】”ねばり強い”気持ちを持ち、精神力・持久力を高めようとしている。集団の中の自分を分析し課題を設定し取り組んでいる。</p>
3	単元7	16	中間・期末	<p>【単元名】球技選択</p> <p>【目標】ルールや技能の理解を深め、基本的な技能の習得と集団における自らの役割を果たせるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールや競技特性 ・基本的な個人技能 ・基本的な集団技能 				<p>【知識・技能】ルールや競技特性を理解している。技能習得に向け継続的な努力を実施している。集団に対して貢献する姿勢</p> <p>【思考・判断・表現】技能習得に対し自ら工夫をしている。基礎体力向上に向け、課題を設定できる。客観的に自分を判断し、目標を設定している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】”ねばり強い”気持ちを持ち、精神力・持久力を高めようとしている。集団の中の自分を分析し課題を設定し取り組んでいる。</p>
3	単元8	16	中間・期末	<p>【単元名】持久走</p> <p>【目標】長い距離を走りきることで、精神力と持久力を高め、基礎体力の向上を目標とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールや競技特性 ・基本的な個人技能 ・基本的な集団技能 				<p>【知識・技能】ルールや競技特性を理解している。技能習得に向け継続的な努力を実施している。集団に対して貢献する姿勢</p> <p>【思考・判断・表現】技能習得に対し自ら工夫をしている。基礎体力向上に向け、課題を設定できる。客観的に自分を判断し、目標を設定している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】”ねばり強い”気持ちを持ち、精神力・持久力を高めようとしている。集団の中の自分を分析し課題を設定し取り組んでいる。</p>

令和6年度(3学年用)年間授業計画 都立農業高等学校全日制課程

教科		芸術		単位数	年間授業時数(予定:単位数×35時間)				
科目		音楽Ⅱ		2	70時間				
対象学年組 第3学年1組、2組、3組、4組									
使用教科書 Mousa2(教芸)									
科目:「音楽Ⅱ」の目標, 評価方法									
		【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】		【学びに向かう力、人間性等】			
目標		曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。		自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。		主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。			
評価方法		行動観察 実技小テスト 鑑賞感想ワークシート		行動観察 実技テスト 発表 鑑賞感想ワークシート		行動観察 発表 鑑賞感想ワークシート チェックシート			
学期	通し番号	配当 時数	定期 考査 範囲	単元名・目標	指導項目・内容	表現 鑑賞			評価基準 (おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述)
						歌	器	創	
1	単元1	6		【単元名】 歌唱(合唱、独唱) 【目標】 歌唱の活動を通して、発声法や音高感を身につけ、主体的に取り組みながら声で音楽表現することや仲間と一緒に歌うことの楽しさを感じ取ろうとしている。イタリア歌曲やオペラにも触れ、歌ってみる。	・指導事項 発声法、読譜の基礎、リズム感、音高感、歌詞の意味、イタリア語の歌詞 ・教材 教科書、プリント	○			【知識・技能】 発声の仕組み、読譜の基礎を理解し、発声法、リズム感、音高感の基本を身につけている。 【思考・判断・表現】 自分のパートを適切に演奏し、声の特性や曲種、曲想、歌詞の意味にふさわしい表現の仕方を考えている。イタリア語の表現を工夫しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 歌唱法の基礎の理解、歌唱法の基本の修得にむけ、主体的・協働的に取り組もうとしている。
1	単元2	6		【単元名】 器楽(電子ピアノ) 【目標】 鍵盤楽器の活動を通して、読譜の基礎を復習し、音楽の調整と和音、簡単なコードネームについて理解する。旋律にふさわしい伴奏を付けてみて、楽譜が無くても演奏することの楽しさを感じ取ろうとしている。	・指導事項 読譜の基礎、音階(英語)と調号、コードネーム ・教材 電子ピアノ、教科書、プリント		○	○	【知識・技能】 読譜の基礎を理解し、英語音階とコードネームの簡単な三和音を身につけて、電子ピアノで弾ける。 【思考・判断・表現】 旋律にふさわしい和音を見つけ演奏でき、曲想にふさわしい表現の仕方を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的・協働的に取り組みながら、鍵盤楽器演奏の楽しさを感じ取ろうとしている。
1	単元3	6		【単元名】 器楽(器楽アンサンブル) 【目標】 器楽アンサンブルの活動を通して、読譜の基礎について理解し、自分のパートを適切に演奏し、曲種・曲想にふさわしい表現の仕方を工夫、パートやフレーズごとにふさわしい音色を工夫するとともに、主体的・協働的に取り組みながら、ハーモニーを感じ音楽表現することや仲間と一緒に演奏することの楽しさを感じ取ろうとしている。	・指導事項 読譜の基礎、リズム感、アンサンブル感 ・教材 電子ピアノ、教科書、プリント		○	○	【知識・技能】 読譜の基礎を理解し、自分のパートを適切に演奏できる力を身につけている。 【思考・判断・表現】 アンサンブル全体の速さ、リズム、ハーモニーを聴きながらも、自分のパートを適切に演奏でき、曲種や曲想にふさわしい表現の仕方を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的・協働的に取り組みながら、器楽アンサンブルの楽しさを感じ取ろうとしている。

1	単元4	8	<p>【単元名】鑑賞(バロック、古典、ロマン派の音楽)</p> <p>【目標】西洋音楽史の大まかな流れに沿って、それぞれの時代の代表的な作曲家と作品を知り理解する。また、それらの表現の特徴を比較し、文章で表現するとともに、それらの文化・歴史的背景や人間の生活、社会とのつながりについて考えを深め、芸術を鑑賞する喜びを感じ取ろうとしている。</p>	<p>・指導事項 西洋音楽史年表と照らし合わせ、バロック、古典、ロマン派前期の有名な作曲家の作品を鑑賞。</p> <p>・教材 映像教材、録音教材、教科書、プリント</p>	○	<p>【知識・技能】西洋音楽史における時代の作曲家や作品の特徴について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】音楽の形態、技法の特徴、名曲の美しさや表現内容などを感受し、感想と交えて端的に文章で表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】主体的に取り組みながら、クラシックの名曲に興味を持ち教養も深めながら、鑑賞することの喜びを感じ取ろうとしている。</p>
2	単元5	6	<p>【単元名】歌唱(独唱、重唱、合唱)</p> <p>【目標】歌唱の活動を通して、発声法や音高感を身につけ、主体的に取り組みながら声で音楽表現することや仲間と一緒に歌うことの楽しさを感じ取ろうとしている。ミュージカルの重唱やフランス歌曲にも触れ、歌ってみる。</p>	<p>・指導事項 発声法、読譜の基礎、リズム感、ハーモニー感、歌詞の意味、フランス歌曲、ミュージカルの歌唱法</p> <p>・教材 教科書、プリント</p>	○	<p>【知識・技能】発声の仕組み、読譜の基礎を理解し、発声法、リズム感、ハーモニー感の基本を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】自分のパートを適切に演奏し、声の特性や曲種、曲想、歌詞の意味にふさわしい表現の仕方を考えている。ミュージカルの歌い方、フランス語の工夫をしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】主体的・協働的に取り組みながら声で音楽表現することや仲間と一緒に歌うことの楽しさを感じ取ろうとしている。</p>
2	単元6	8	<p>【単元名】器楽アンサンブル(ギター)</p> <p>【目標】ギターの活動を通して、楽器の構造や独自の記譜法、チューニングについて理解し、奏法の基本やギターにふさわしい演奏感覚を身につける。器楽アンサンブルの活動を通して、自分のパートを適切に演奏し、曲種・曲想にふさわしい表現の仕方を工夫するとともに、主体的・協働的に取り組みながら、ハーモニーを感じ音楽表現することや仲間と一緒に演奏することの楽しさを感じ取ろうとしている。</p>	<p>・指導事項 楽器の仕組み、記譜法、奏法の基礎、チューニング</p> <p>・教材 教科書</p>	○	<p>【知識・技能】ギターの構造や独自の記譜法を理解し、奏法の基本やギターにふさわしい演奏感覚を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】6弦の音程が揃うように、音を聴きながらチューニングしようとしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】粘り強く主体的・協働的に取り組みながら、パートの仲間と協力してギターを演奏することの楽しさを感じ取ろうとしている。</p>
2	単元7	8	<p>【単元名】鑑賞(ロマン派前期から後期の音楽)</p> <p>【目標】西洋音楽史の大まかな流れに沿って、それぞれの時代の代表的な作曲家と作品を知り理解する。また、それらの表現の特徴を比較し、文章で表現するとともに、それらの文化・歴史的背景や人間の生活、社会とのつながりについて考えを深め、芸術を鑑賞する喜びを感じ取ろうとしている。</p>	<p>・指導事項 それぞれの音楽が有する音楽言語や構造、文化・歴史的背景</p> <p>・教材 映像教材、録音教材、教科書、プリント</p>	○	<p>【知識・技能】西洋音楽史における時代の作曲家や作品の特徴について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】音楽の形態、技法の特徴、名曲の美しさや表現内容などを感受し、感想と交えて端的に文章で表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】主体的に取り組みながら、クラシックの名曲に興味を持ち教養も深めながら、鑑賞することの喜びを感じ取ろうとしている。</p>

2	単元8	6	<p>【単元名】 歌唱(斉唱、合唱)</p> <p>【目標】 歌唱の活動を通して、発声の仕組みや読譜の基礎について理解し、発声法やリズム感、ハーモニー感覚を身につけ、合唱全体の響きを聴きながら自分のパートを適切に演奏し、声の特性や曲種、曲想、歌詞の意味にふさわしい表現の仕方を考えるとともに、主体的・協働的に取り組みながら声で音楽表現することや仲間と一緒に歌うことの楽しさを感じ取ろうとしている。ドイツ語、英語の歌を歌ってみる。</p>	<p>・指導事項 発声法、読譜の基礎、リズム感、ハーモニー感、歌詞の意味、ドイツ語、英語の発語</p> <p>・教材 教科書、プリント</p>	○	<p>【知識・技能】 発声の仕組み、読譜の基礎を理解し、発声法、リズム感、ハーモニー感の基本を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】 合唱全体の響きを聴きながら自分のパートを適切に演奏し、声の特性や曲種、曲想、歌詞の意味にふさわしい表現の仕方を考えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 主体的・協働的に取り組みながら声で音楽表現することや仲間と一緒に歌うことの楽しさを感じ取ろうとしている。</p>
3	単元9	6	<p>【単元名】 鑑賞(現代と映画やミュージカルの音楽)</p> <p>【目標】 西洋音楽史の大まかな流れに沿って、それぞれの時代の代表的な作曲家と作品を知り理解する。また、それらの表現の特徴を比較し、文章で表現するとともに、それらの文化・歴史的背景や人間の生活、社会とのつながりについて考えを深め、芸術を鑑賞する喜びを感じ取ろうとしている。</p>	<p>・指導事項 それぞれの音楽が有する音楽言語や構造、文化・歴史的背景</p> <p>・教材 映像教材、録音教材、教科書、プリント</p>	○	<p>【知識・技能】 西洋音楽史における時代の作曲家や作品の特徴について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 音楽の形態、技法の特徴、名曲の美しさや表現内容などを感受し、感想と交えて端的に文章で表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に取り組みながら、クラシックの名曲に興味を持ち教養も深めながら、鑑賞することの喜びを感じ取ろうとしている。</p>
3	単元10	5	<p>【単元名】 歌唱+器楽</p> <p>【目標】 歌唱や器楽の活動の総まとめを通して、曲種、曲想にふさわしい表現の仕方を考えるとともに、主体的・協働的に取り組みながら、音楽を作り上げて表現することや仲間と一緒に演奏する楽しさを感じ取ろうとしている。</p>	<p>・指導事項 それぞれに合った総復習とリクエストによる音楽活動</p> <p>・教材、 教科書、プリント、電子ピアノ、打楽器など</p>	○	<p>【知識・技能】 発声の仕組み、読譜の基礎を理解し、発声法、リズム感、ハーモニー感の基本を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】 合唱全体の響きを聴きながら自分のパートを適切に演奏し、声の特性や曲種、曲想、歌詞の意味にふさわしい表現の仕方を考えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 主体的・協働的に取り組みながら仲間と一緒に演奏する楽しさを感じ取ろうとしている。</p>
3	単元11	5	<p>【単元名】 歌唱(合唱)</p> <p>【目標】 卒業に向けて、小中高校で歌った思い出のあるリクエスト曲、卒業ソング、卒業式の歌、校歌を歌い、卒業への気持ちを高め高校生活を振り返ると共に、合唱全体の響きやハーモニーを聴きながら声で音楽表現することや仲間と一緒に歌うことの楽しさを感じ取ろうとしている。</p>	<p>・指導事項 一人一人のリクエスト曲と有名な卒業ソングや、卒業式で歌う歌、校歌を歌う。</p> <p>・教材 合唱の本、プリント</p>	○	<p>【知識・技能】 合唱の中の主旋律を意識しながら、全体を聴きながら自分のパートを適切に演奏でき、楽器の特性や曲種、曲想にふさわしい表現の仕方を工夫している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 主体的・協働的に取り組みながら、声で音楽表現することや、仲間と一緒に歌うことの楽しさを感じ取ろうとしている。</p>

令和6年度(3学年用)年間授業計画 都立農業高等学校全日制課程

教科		芸術		単位数	年間授業時数(予定:単位数×35時間)					
科目		美術Ⅱ		2	70時間					
対象学年組		第3学年								
使用教科書		美術2(光村図書)								
科目:「美術Ⅱ」の目標, 評価方法										
		【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】						
目標		美術の様々な領域、デッサンや着彩などの絵画と彫塑、グラフィックやプロダクト、映像などのデザインの特質や意義、表現法を実技や鑑賞をしながら理解する。 様々な表現のために必要な手法や道具の使い方、物の見方や捉え方を体得する。	作品を制作・完成させる事でアイデアやプロセスを立案する力をつける。表現のために最適な画材や用具を選択し制作に活かす事ができる。 課題探究、克服によって自己を表出する事ができる。	美術表現を通して、自分の想いや考えを他者に伝達し共有することができる。 美術作品や造形物の美しさを感じて美意識や価値観などの多様性に気付き、自己や他者を尊重することができる。						
評価方法		ワークシート提出 作品提出 授業態度	ワークシート提出 作品提出 授業態度	ワークシート提出 作品提出 生徒による自己評価や相互評価 学習の振り返りシート提出						
学期	通し番号	配当 時数	定期 考査 範囲	単元名・目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価基準 (おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述)
						絵	デ	映		
1	単元1	10	中間・期末	【単元名】 構成デッサン(鉛筆)「自分の手とモチーフを描く」 【目標】 美術Iで学んだ鉛筆デッサンの技能を発展させ、自分の手と自分のお気に入りのモチーフの組み合わせを考えて構成する力を養う。	・美術の領域導入 ・教科書の使い方 ・教材配布 ・課題説明後の 生徒各自の制作 アイマップ、エスキースなど	○			○	【知識・技能】 様々な鉛筆や道具の使い方を理解している。 立体的な描写技術を習得している。 陰影表現を理解し描ける。 中心線、補助線を描き大まかな形をとらえ細部へと観察を進めることができる。 【思考・判断・表現】 画面構成を理解し、選択したモチーフと手の質感を判断して自分らしい表現に取り組める。 【主体的に学習に取り組む態度】 全体のバランスを把握し、画面調整にも意欲的に取り組もうとしている。
1	単元2	8	中間・期末	【単元名】 淡彩画 透明水彩による着彩 【目標】 絵具の種類について理解する。 三原色カラーの混色を考えて多様な色を作れるようにする。透明色と不透明色の理解する。鉛筆デッサンの濃淡を活かしてバランスよく彩色できるようにする。	・制作方法の説明 ・参考作品提示 ・デモンストレーション ・生徒各自の制作 ・制作へのアドバイス	○			○	【知識・技能】 絵具の種類、透明と不透明、三原色の混色で基礎的な色彩学を理解している。色相環を作成で補色や類似色の仕組みや混色法を習得し豊かな色彩で描いている。 【思考・判断・表現】 三原色から多様な色を混ぜて色彩豊かに画面の色彩構成に取り組める。透明水彩の特徴を考えて、適切な濃淡を判断しながら制作している。 【主体的に学習に取り組む態度】 全体のバランスを把握し、自分なりの到達度まで意欲的に取り組もうとしている。
1	単元3	6	中間・期末	【単元名】 木炭デッサン「蓮」 【目標】 立体制作のために量感について理解できるデッサンにする。余白の空間を認知する。木炭表現を体験し特徴を活かした活動をする。	・木炭の表現 ・蓮のスケッチ ・練り消しゴムでハイライトを描く 木炭紙、木炭で描く	○			○	【知識・技能】 木炭などの描画材や道具の使い方を理解できる。立体的、量感的な描写表現を理解し描ける。大まかな形をとらえ細部へと観察を進めることができる。 【思考・判断・表現】 画面構成を理解し、選択したモチーフと手の質感を判断して自分らしい表現に取り組める。 【主体的に学習に取り組む態度】 全体のバランスを把握し、画面調整にも意欲的に取り組もうとしている。

1	単元4	8	中間・期末	<p>【単元名】 彫塑「蓮の模刻」</p> <p>【目標】 粘土による立体制作を通して、360度存在する形について理解する。空間の流れや背面の形を考える。観察と探究により自然物の美しさに気づき、形のリズムを表現できるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・制作方法の説明 ・参考作品提示 ・教材配布 ・粘土の扱いや保存についてのデモンストラーション ・生徒各自の制作 ・制作へのアドバイス 	○	○	<p>【知識・技能】 立体制作のための土粘土や用具の使い方を理解できる。を理解し描ける。大まかな形をとらえ細部へと観察を進めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 立体的、量感的な表現を理解し、背後から見た形を意識して空間の流れ判断し自分らしい表現をしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 全体のバランスを把握し、細部の特徴も意欲的に観察し制作に活かし取り組む事ができる。</p>
2	単元5	6	中間・期末	<p>【単元名】 感覚問題「自分らしさ」</p> <p>【目標】 映像メディア表現のための造形構想力を養うために、絵と文章のレイアウトが調和的に構成できるようにする。映像的な感性で表現に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の説明 ・映像メディア 表現とは ・支持体の配布 ・端末から参考画像検索 ・生徒各自の制作 ・制作へのアドバイス 	○	○	<p>【知識・技能】 映像メディア表現について理解している。感覚問題の出題意図に気付いて活動している。</p> <p>【思考・判断・表現】 場所や出来事のイメージを創り出しそれを文章と絵に表す判断をして表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 自分らしさを探究し自信を持って課題に取り組もうとしている。</p>
2	単元6	16	中間・期末	<p>【単元名】 グラフィックデザイン 「自分ポスター」</p> <p>【目標】 ポスター制作を通して、自己表出の手法を理解する。自分肯定感を高めてプレゼンテーションを考え、楽しんでアイデアを形にしようとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の説明 ・参考作品提示 ・教材配布 ・端末から参考画像検索 ・生徒各自の制作 ・制作へのアドバイス 	○	○	<p>【知識・技能】 グラフィックデザインについて理解している。ポスター制作の他者への伝達のクリエイティブな手法である事に気付いている。画面と色彩構成、文字と図像のバランスを考えデザインしている。</p> <p>【思考・判断・表現】 自分の嗜好や自分らしさを探究している。自分を伝えるアイデアを豊かに発想している。自分なりのビジュアル表現を駆使して制作している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 自己について探究し積極的に表出する活動をしている。</p>
3	単元7	14	中間・期末	<p>【単元名】 プロダクトデザイン 「和菓子プロジェクト」</p> <p>【目標】 身近な事物を通して、デザインする事について理解する。様々なアイデアを考えて、それを実際の形に実現できるように創作活動に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・課題、制作方法材料の特徴等説明 ・参考作品提示 ・教材配布 ・端末から参考画像検索 ・生徒各自の制作 ・制作へのアドバイス 	○	○	<p>【知識・技能】 プロダクトデザインについて理解している。材料・用具を適切に活用している。 【思考・判断・表現】 課題意図を理解し立案している。材料・用具を効果的に使って、美しい形をデザインして立体制作をしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 自分のプロジェクトを丁寧にプレゼンしようとしている。意欲的にアイデアを実現させるために工夫して制作しようとしている。</p>
3	単元8	2	中間・期末	<p>【単元名】 美術の意義</p> <p>【目標】 作品講評と鑑賞を通して、美術の意味とセラピー効果について考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・作品発表、展示 ・鑑賞、講評 ・美術の意義のプリント配布 ・生徒各自の感想 ・振り返り 	○	○	<p>【知識・技能】 美術の意義や役割を理解している。自分の作品の良さを他者に伝えている。</p> <p>【思考・判断・表現】 鑑賞文を読んで、アートセラピーについて考えたり感じたりした事を感想文に表している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 美術の意義について積極的に考えて今後の活動に貢献しようとしている。</p>

令和6年度(3学年用)年間授業計画 都立農業高等学校全日制課程

教科		外国語		単位数	年間授業時数(予定・単位数×35時間)					
科目		英語コミュニケーションⅡ		3	105時間					
対象学年組 第3学年 1～5組										
使用教科書 三省堂 VISTA English Communication Ⅱ										
科目:「英語コミュニケーションⅡ」の目標, 評価方法										
		【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】		【学びに向かう力、人間性等】				
目標		英語の特徴や決まりに関する事項を理解している。日常的な話題や社会的な話題について、内容を捉える技能を身につけ、事実や自分の考え、気持ちなどを書いたり話したりする技能を身につけている。		習得した英語の表現を用いて、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報や概要を捉えたり、事実や自分の考え、気持ちなどを表現している。		外国語の背景にある文化に対する理解を深めようとしている。話し手・書き手・聞き手・読み手に配慮しながら、主体的に必要な情報を読み取ったり、考えを表現したりするなどして、英語によるコミュニケーションを図ろうとしている。				
評価方法		定期テスト(記述問題を含む) 小テスト ワークブック・ワークシート 英語マスターノート、基本ワーク		定期テスト(記述問題を含む) 小テスト ワークブック・ワークシート 英語マスターノート、基本ワーク 観察(学習状況、討論・発表など) 学習の振り返り		ワークブック・ワークシート 英語マスターノート、基本ワーク 観察(学習状況、討論・発表、行動観察、授業中の発言など) 生徒による自己評価や相互評価 学習の振り返り、定期テスト(記述問題を含む)				
学期	通し番号	配当 時数	定期 考查 範囲	単元名・目標	指導項目・内容	領域				評価基準 (おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述)
						聞	読	話	書	
1	単元1	15	中間	【単元名】Lesson 4 Designing Stamps 【目標】 玉木明さんへのインタビューについて、理解して考えを深めることができる。 形式主語itと形式目的語itに関する事項を理解し、必要な情報を把握したり考えを表現したりすることができる。	形式主語itと形式目的語it、より詳しく説明したいときの表現	○	○	○	○	【知識・技能】 形式主語itと形式目的語itに関する事項を理解している。玉木明さんへのインタビューについて、形式主語itと形式目的語itに注意しながら、内容を読み取る技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 玉木明さんへのインタビューについて、概要や要点、必要な情報を、聞き取り、基本的な語句や文を用いて、考えを詳しく話して伝えたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 玉木明さんへのインタビューについて、概要や要点、必要な情報を、聞き取り、基本的な語句や文を用いて、主体的に考えを詳しく話して伝えようとしている。
1	単元2	15	中間・期末	【単元名】Lesson 5 Mont-Saint-Michel 【目標】 モン・サン・ミシェルについて、理解して考えを深めることができる。 現在完了進行形・過去完了形・過去完了進行形に関する事項を理解し、必要な情報を把握したり考えを表現したりすることができる。	現在完了進行形・過去完了形・過去完了進行形、世界遺産や旅行先について発表するときの表現	○	○	○	○	【知識・技能】 現在完了進行形・過去完了形・過去完了進行形に関する事項を理解している。モン・サン・ミシェルについて、完了形の様々な形に注意しながら、内容を読み取る技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 モン・サン・ミシェルについて、理解を深めるために、発表を読み取り、概要や要点を把握している。世界遺産について、基本的な語句や文を用いて、情報や考えを発表して伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 モン・サン・ミシェルや世界遺産・過去の旅行先について、基本的な語句や文を用いて、主体的に情報や考えを発表して伝えようとしている。

1	単元3	15	期末	<p>【単元名】LESSON 6 Smart Agriculture</p> <p>【目標】スマート農業について、理解して考えを深めることができる。現在完了形の受け身／助動詞＋受け身にに関する事項を理解し、必要な情報を把握したり考えを表現したりすることができる。</p>	現在完了形の受け身／助動詞＋受け身、スマート農業／ロボットの活用場面について考えを伝えるときの表現					<p>【知識・技能】現在完了形の受け身／助動詞＋受け身の表現に関する事項やAI活用に関連した表現を理解している。スマート農業について、受け身の様々な形に注意しながら、内容を読んだり書いたりする技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】スマート農業についての発表を理解し、基本的な語句や文を用いて、情報や考えを伝えている。受け身の様々な形を使って表現できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】スマート農業やロボットの活用場面について、基本的な語句や文を用いて、主体的に考えを話して伝えたり、相手からの質問に答えようとしていたりしている。</p>
2	単元4	18	中間	<p>【単元名】LESSON 7 Martial Art on Tatami</p> <p>【目標】競技かるたについて、理解して考えを深めることができる。関係代名詞の非制限用法／関係代名詞whatの使い方に関する事項を理解し、必要な情報を把握したり考えを表現したりすることができる。</p>	関係代名詞の非制限用法／関係代名詞whatの使い方					<p>【知識・技能】関係代名詞の非制限用法／関係代名詞whatの使い方に関する事項を理解している競技かるたやアニメについて、関係代名詞に注意しながら、内容を読み取る技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】競技かるたやアニメについて、基本的な語句や文を用いて、詳しく書いて伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】競技かるたやアニメについて、内容を主体的に読み取り、概要や要点を基本的な語句や文を用いて、詳しく書いて伝えようとしている。</p>
2	単元5	18	期末	<p>【単元名】LESSON 8 Biologging</p> <p>【目標】バイオロギングについて、理解して考えを深めることができる。分詞構文／強調構文の使い方に関する事項を理解し、必要な情報を把握したり考えを表現したりすることができる。</p>	分詞構文／強調構文の使い方					<p>【知識・技能】疑問詞やifで始まる節に関する事項を理解している。バイオロギングについて、分詞構文／強調構文に注意しながら、内容を読み取る技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】バイオロギングについて、理解を深めるために、発表を読み取り、基本的な語句や文を用いて、情報や考えを伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】バイオロギングについて、理解を深めるために、発表を読み取り、基本的な語句や文を用いて、情報や考えを伝えようとしている。</p>
3	単元6	12	学年末	<p>【単元名】ENJOY READING! 2 The Christmas Truce</p> <p>【目標】第一次世界大戦におけるクリスマス休戦の文章について、理解して考えを深めることができる。</p> <p>文章について、出来事が伝えるメッセージを想像して、書いたり発表することができる。</p>	長文の読み取り、自分の考えを相手に伝える英語表現					<p>【知識・技能】第一次世界大戦におけるクリスマス休戦の文章から、概要や要点を聞き取ったり内容を読み取ったりする技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】文章について、クリスマス休戦が私たちに伝えるメッセージを考えながら、考えを書いたり、それを話して伝えたりしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】文章について、クリスマス休戦が私たちに伝えるメッセージを考えながら、考えを書いたり、それを基本的な語句や文を用いて、主体的に話して伝えようとしている。</p>
3	単元7	12	学年末	<p>【単元名】ENJOY READING! 3 My Dream</p> <p>【目標】宇宙飛行士の野口聡一さんの夢に関する文章について、理解して考えを深めることができる。</p> <p>文章に関連して、子どもの頃の将来の夢について、書いたり発表することができる。</p>	長文の読み取り、自分の考えを相手に伝える英語表現					<p>【知識・技能】宇宙飛行士の野口聡一さんの夢に関する文章から、概要や要点を聞き取ったり読み取ったりする技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】文章に関連して、子どもの頃の将来の夢について、書いたり話して伝えたりしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】文章について、子どもの頃の将来の夢について考えを書いたり、それを基本的な語句や文を用いて、主体的に話して伝えようとしている。</p>

令和6年度(3学年用)年間授業計画 都立農業高等学校全日制課程

教科	外国語	単位数	年間授業時数(予定:単位数×35時間)
科目	論理表現 I	2	70時間

対象学年組 第3学年 1～5組

使用教科書 数研出版 BIG DIPPER English Logic and Expression I

科目:「論理表現 I」の目標, 評価方法

	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
目標	日常的な話題や社会的な話題について、自分の考え、気持ちなどを英語で書いたり話したりする技能を身につけている。	日常の様々な場面・状況に応じて、必要な情報や概要を捉え、自分の考え、気持ちなどを表現している。	外国語の背景にある文化に対する理解を深めようとしている。聞き手・読み手に配慮しながら、主体的に考えを表現するなどして、英語によるコミュニケーションを図ろうとしている。
評価方法	定期テスト(記述問題を含む) 小テスト、実技課題 ワークブック・ワークシート	定期テスト(記述問題を含む) 小テスト ワークブック・ワークシート 観察(学習状況、討論・発表など) 学習の振り返り	ワークブック・ワークシート 観察(学習状況、討論・発表、行動観察、授業中の発言など) 生徒による自己評価や相互評価 学習の振り返り、定期テスト(記述問題を含む)

学期	通し番号	配当時数	定期 考 査 範 囲	単元名・目標	指導項目・内容	領域				評価基準 (おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述)
						聞	話	読	書	
1	単元1	1	中間	<p>【単元名】はじめに① 「だれが」「～する」をはっきりと</p> <p>【目標】 [表現] 日本語で省略される主語などに注意して、英語の文を表現できる。 [話題] 日常行うことや、天候などについて英語で表現できる。</p>	日常行うことや、天候などについて英語の表現					<p>【知識・技能】 ①日本語で主語が示されない場合 ②日本語で「～は」「～が」と表現される語句が、英語では主語に相当しない場合 ③天候・時間・距離・明暗などを表す場合には、英語でどのような表現を用いるのかを理解し、コミュニケーションを図る技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 身近な話題に関して、実際の状況を自らが考え、判断して、〈主語＋動詞＋…〉の構造、天候などを表す it を用いて正しい英文で表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 日本語と英語の基本的な語順の違い、主語の置きかたの違いなどについて正しく理解しようとしている。</p>
1	単元2	1	中間	<p>【単元名】はじめに② 動詞をうまく使おう</p> <p>【目標】 [表現] 伝えたい内容を、適切な意味をもつ動詞を用いて英語で表現できる。 [話題] 日常行うことや、「～がある[いる]」という内容を、英語で表現できる。</p>	「～がある[いる]」、look(見える)、coffee・hair[不可算名詞]、pass[bring, give]+O+Oなどの表現					<p>【知識・技能】 日常的に用いられる日本語の言い回しについて、英語でどのような表現(動詞)を用いるのかを理解している。 【思考・判断・表現】 日本語を逐語訳的に英語に置き換えるのではなく、表現したい内容に合致した適切な意味をもつ動詞を用いて、正しい英文で表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 英語の表現を通して、それに対応する日本語の表現の本質的な意味などに対する理解を深めようとしている。</p>
1	単元3	2	中間	<p>【単元名】はじめに③ 名詞の数などに気をつけよう</p> <p>【目標】 [表現] 名詞が、数えられるか、特定のものであるかなどを意識して英語で表現できる。 [話題] 友人や食べ物などの、身の回りのことについて、英語で表現できる。</p>	名詞の性質や冠詞の用法、be made from, a lot of などの表現					<p>【知識・技能】 名詞の性質や冠詞の用法を理解したうえで文を作り、実際のコミュニケーションで使う技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 英語における数の概念を身につけ、主語となる名詞に対して正しく動詞を呼応させることに留意して、単数形・複数形を適切に用いて表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 名詞・冠詞の用法を通じ、英語の名詞の数(可算・不可算)、不定・限定の概念を理解しようとしている。</p>

1	単元4	2	中間	<p>【単元名】My Friends</p> <p>【目標】 [表現]「～である[ない]」「～ですか[しますか]」などの英語表現</p> <p>[表現]「～である[ない]」「～ですか[しますか]」などを英語で表現できる。</p> <p>[話題] 友人など、身の周りの人について英語で表現できる。</p>	「～である[ない]」「～ですか[しますか]」などの英語表現					<p>【知識・技能】 英語で「肯定」「否定」を表す文や、「疑問文」にはどのような表現を用いるのかを理解している。好きな科目や人物などについて、コミュニケーションを図る技能を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】 適切な場面において、not を用いて否定の意味を表現したり、Is ～?、Do[Does] ～?、Where ～?、Who ～? などを用いて、いろいろな内容を尋ねたりする。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 英語では否定語が日本語と比較して前の方に置かれ、否定の意志を早い段階で表現することを理解しようとしている。</p>
1	単元5	2	中間	<p>【単元名】My Family</p> <p>【目標】 [表現]「～する[している]」「～した[していた]」などを英語で表現できる。</p> <p>[話題] 家族など、身の周りの人について英語で表現できる。</p>	「～する[している]」「～した[していた]」などの英語表現					<p>【知識・技能】 「現在の状態・習慣」、「過去の状態・動作・習慣」、「現在進行中の動作」、「過去に進行中であった動作」を表すにはどのような表現を用いるのかを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 適切な場面において、①「いつも[よく]～する」(現在形) ②「今～している」(現在進行形) ③「過去に～(よく)した」(過去形) ④「過去に～していた」(過去進行形)のそれぞれの表現形式を使いこなす。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 日常の行動を述べる表現などを習得しようとしている。</p>
1	単元6	2	中間	<p>【単元名】Pastime</p> <p>【目標】 [表現] 未来に行くことについて、英語で表現できる。</p> <p>[話題] 余暇の予定や計画などについて、英語で表現できる。</p>	英語で「未来」の意味を表す英語表現					<p>【知識・技能】 英語で「未来」の意味を表すにはどのような表現を用いるのかを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 適切な場面において、will を用いて「予測・自然の成り行き」や「意志」の意味を表現したり、be going to do, be doing を用いて、「前から計画していること」や「近い未来の予定」の意味を表現したりする。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 予定・計画される行動の内容を述べる表現などを習得しようとしている。</p>
1	単元7	2	期末	<p>【単元名】My Town</p> <p>【目標】 [表現] 現在・過去における完了・継続・経験の意味を英語で表現できる。</p> <p>[話題] 自分の町や身の周りの状況について、英語で表現できる。</p>	「完了・結果」「経験」「状態の継続」「動作の継続」の意味の表し方					<p>【知識・技能】 英語で「完了・結果」「経験」「状態の継続」「動作の継続」の意味を表すにはどのような表現を用いるのかを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 適切な場面において、have[had]+過去分詞を用いて「現在[過去]完了」の意味を表現したり、have[had]+been+～ing を用いて「現在[過去]完了進行形」の意味を表現したりする。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ある時点までの経験や継続される動作の内容を述べる表現などを習得しようとしている。</p>
1	単元8	2	期末	<p>【単元名】Our Teachers</p> <p>【目標】 [表現] 能力・許可・推量などの意味を英語で表現できる。</p> <p>[話題] 先生や学校での生活について、英語で表現できる。</p>	「可能」「許可」「推量」の意味を表す表現					<p>【知識・技能】 英語で「可能」「許可」「推量」の意味を表すにはどのような表現を用いるのかを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 適切な場面において、can, be able to; may を用いて「可能」「許可」の意味を表現したり、may, must, can't[cannot] を用いて「推量」の意味を表現したりする。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 助動詞による丁寧さの違いを認識して、話し相手に応じて適切にコミュニケーションを行おうとしている。</p>

1	単元9	2	期末	<p>【単元名】 Visiting a Museum</p> <p>【目標】 [表現] 必要・義務や、過去についての推量・後悔などを英語で表現できる。 [話題] 催し物や行動・活動などについて、英語で表現できる。</p>	「助言・義務」「必要・不必要」「禁止」「過去に関する推量・後悔など」の表現					<p>【知識・技能】 英語で「助言・義務」「必要・不必要」「禁止」「過去に関する推量・後悔など」の意味を表すにはどのような表現を用いるのかを理解している。 【思考・判断・表現】 適切な場面において、should, must, have to を用いて「助言・義務・必要」の意味を表現したり、must not[mustn't] を用いて「禁止」の意味を、don't have to を用いて「不必要」の意味を表現したりする。 【主体的に学習に取り組む態度】 「義務」「禁止」「過去の推量」の対象となる行動の内容を述べる表現などを習得しようとしている。</p>
1	単元10	2	期末	<p>【単元名】 Famous People</p> <p>【目標】 [表現] 「～は…に見える」「～に…を与える」「～を…にする」などを英語で表現できる。 [話題] 有名人などについて、英語で表現できる。</p>	「SはCになる[である]」「SはOを～する」「SはO(人)にO(物)を～する」「SはOをCにする」「SはOをCと呼ぶ」の表現					<p>【知識・技能】 英語で「SはCになる[である]」「SはOを～する」「SはO(人)にO(物)を～する」「SはOをCにする」「SはOをCと呼ぶ」の意味を表すにはどのような表現を用いるのかを理解している。 【思考・判断・表現】 適切な場面において、ポイントになる文型を用いて、「SはCになる[である]」「SはOを～する」「SはO(人)にO(物)を～する」「SはOをCにする」「SはOをCと呼ぶ」などの意味を表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 英文で表現される意味内容が語順に大きく依拠することを認識して、動詞の様々な用法を習得しようとしている。</p>
1	単元11	2	期末	<p>【単元名】 Reading</p> <p>【目標】 [表現] 「～される[されない]」「～に満足している」などを英語で表現できる。 [話題] 読書や感情に関連する事柄などについて、英語で表現できる。</p>	「受け身」の表現					<p>【知識・技能】 英語で「受け身」の意味を表すにはどのような表現を用いるのかを理解している。 【思考・判断・表現】 適切な場面において、be 動詞＋過去分詞(+by～)、be 動詞＋not＋過去分詞、助動詞＋be＋過去分詞、be 動詞＋being＋過去分詞、have been＋過去分詞を用いて「受け身」の意味を表現する。また、be known to, be satisfied with など、by 以外の前置詞を使う「受け身」の表現を用いる。 【主体的に学習に取り組む態度】 「受け身」を使用するのが適切な場面や状況を理解して、コミュニケーションを図ろうとしている。</p>
1	単元12	2	期末	<p>【単元名】 Studying Abroad</p> <p>【目標】 [表現] 「～すること」「～する方法」「～するための…」などを英語で表現できる。 [話題] 希望や目標、物事を行う方法などについて英語で表現できる。</p>	「～すること」「～することは…だ」「～する方法」「～するための」「～すべき」の表現					<p>【知識・技能】 英語で「～すること」「～することは…だ」「～する方法」「～するための」「～すべき」の意味を表すにはどのような表現を用いるのかを理解している。 【思考・判断・表現】 適切な場面において、不定詞の名詞的用法を用いて「～すること」の意味を表現する。また、「～することは…だ」は形式主語構文<It is ... to ~>を、「～しないこと」は不定詞の否定形<not to ~>を、「Aが～することは…だ」は不定詞の意味上の主語を含む<It is ... for A to ~>を用いて、それぞれ表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 形式主語構文により主語が過大になるのを避ける点や、形容詞的用法により被修飾語を後ろから修飾する点など、英文の特徴を理解して、表現しようとしている。</p>
2	単元13	2	中間	<p>【単元名】 Advice</p> <p>【目標】 [表現] 「～するために」「…に～するよう頼む」「…が～するのを見る」などを英語で表現できる。 [話題] 助言や頼み事などについて英語で表現できる。</p>	「～するために」「～して」などや「…に～するよう頼む」「…が～するのを見る」などの表現					<p>【知識・技能】 「～するために」「～して」などや「…に～するよう頼む」「…が～するのを見る」などの意味を表すにはどのような表現を用いるのかを理解している。 【思考・判断・表現】 適切な場面において、to-不定詞の副詞的用法を用いて「目的・原因」「判断の理由」などの意味を表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 「目的」「原因」「判断の根拠」となる行為や、<SVO+(to-)不定詞>で表される行動の内容を述べる表現を習得しようとしている。</p>

2	単元14	2	中間	<p>【単元名】 Hobbies</p> <p>【目標】 [表現]「～すること」などを英語で表現できる。 [話題] 趣味やその他の日常の活動について、英語で表現できる。</p>	動名詞を用いて「(…が)～すること[しないこと]」を表す表現					<p>【知識・技能】 英語で、動名詞を用いて「(…が)～すること[しないこと]」の意味を表すには、どのような表現を用いるのかを理解している。 【思考・判断・表現】 適切な場面において、動名詞(～ing)を用いて「～すること」を、動名詞の意味上の主語を用いて「…が～すること」を、notを動名詞の直前に置いて「～しないこと」を、それぞれ英語で表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 趣味・謝罪・依頼を述べる表現などを習得しようとしている。</p>
2	単元15	2	中間	<p>【単元名】 My Vacation</p> <p>【目標】 [表現]「～している[された]…」 「～しに行く」「～しているのを見る」などを英語で表現できる。 [話題] 休暇での出来事などについて英語で表現できる。</p>	「～している…」や「～された…」と名詞を説明する場合や、「～しながら…する」、「～しているのを…する」などの意味を表す表現					<p>【知識・技能】 英語で「～している…」や「～された…」と名詞を説明する場合や、「～しながら…する」、「～しているのを…する」などの意味を表すにはそれぞれどのような表現を用いるのかを理解している。 【思考・判断・表現】 適切な場面において、現在分詞、過去分詞を用いて、それぞれ「～している…」や「～された…」と名詞を説明する表現を行う。 【主体的に学習に取り組む態度】 分詞の後置修飾や、<SVC[=分詞]>、<SVOC[=分詞]>で表現される内容の語彙などを習得しようとしている。</p>
2	単元16	2	中間	<p>【単元名】 In a Zoo</p> <p>【目標】 [表現] 2つのものを比べて、「同じくらい～」「より～」ということを英語で表現できる。 [話題] 動物の特徴や人の行動について、他と比較して英語で表現できる。</p>	「2つ以上のものを比較する」表現					<p>【知識・技能】 英語で「2つ以上のものを比較する」にはどのような表現を用いるのかを理解している。 【思考・判断・表現】 身の回りの事象について、<as+原級+as>や<not as+原級+as>を用いて「同じくらい～である」や「…ほど～でない」の意味を、<比較級+than>を用いて「…より～である」の意味を表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 同等比較や比較級を用いての比較でよく用いられる語彙などを習得しようとしている。</p>
2	単元17	2	中間	<p>【単元名】 Our Team</p> <p>【目標】 [表現] 「最も～」「2倍の～」「できるだけ～」などを英語で表現できる。 [話題] 学校での活動などについて、他と比較して英語で表現できる。</p>	「最も～である」や、「2倍の～」「できるだけ～」の表現					<p>【知識・技能】 英語で「最も～である」や、「2倍の～」「できるだけ～」を表すには、どのような表現を用いるのかを理解している。 【思考・判断・表現】 適切な場面において、最上級を用いて程度が最も高いことを表現する。また、それに伴い、比較の範囲や対象を表したり、序数詞を用いて「何番めに～である」と表現したりする。 【主体的に学習に取り組む態度】 最上級、倍数表現、<as～as one can>でよく用いられる語彙などを習得しようとしている。</p>
2	単元18	2	中間	<p>【単元名】 Neighbors</p> <p>【目標】 [表現] 「～する人/物」「…が～する人/物」などを英語で表現できる。 [話題] 近所の人などについて、簡単な説明を加えて英語で表現できる。</p>	関係代名詞を用いて名詞を説明する表現					<p>【知識・技能】 関係代名詞を用いて名詞を説明する表現を理解している。 【思考・判断・表現】 適切な場面において、関係代名詞を用いて、「人」や「物・事」を説明する。その場合に、関係詞節内での関係詞の働き(主語・目的語)や、先行詞と関係詞節内での動詞の呼応に注意する。 【主体的に学習に取り組む態度】 知り合いや身の回りの物品を説明する場合の語彙などを習得しようとしている。</p>

2	単元19	2	中間	<p>【単元名】 Speeches</p> <p>【目標】 [表現]「…が～すること」「…が～する場所[時]」などを英語で表現できる。 [話題] 友人の話や場所・時などについて、簡単な説明を加えて英語で表現できる。</p>	<p>関係代名詞 what や関係副詞を用いて「～すること、～するもの」、「～する場所[時、理由、方法]」という表現</p>					<p>【知識・技能】 関係代名詞 what や関係副詞を用いて「～すること、～するもの」、「～する場所[時、理由、方法]」という意味を英語で表現するにはどのようにすればいいのかを理解している。 【思考・判断・表現】 適切な場面において、関係代名詞 what を用いて、「～すること、～するもの」や、「いわゆる」「さらに～なことには」の意味を表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 関係代名詞 what や関係副詞を用いての表現で、よく用いられる語句などを習得しようとしている。</p>
2	単元20	2	中間	<p>【単元名】 My Wish</p> <p>【目標】 [表現] 事実と異なる状況[願望など]を英語で表現できる。 [話題] 自分の願望などの仮定の話について、英語で表現できる。</p>	<p>「現在や過去の仮定」の話をする場合や、「現在や過去と異なる願望」を表す表現</p>					<p>【知識・技能】 英語で「現在や過去の仮定」の話をする場合や、「現在や過去と異なる願望」を表すにはどのような表現を用いるのかを理解している。 【思考・判断・表現】 適切な場面において、<If+S'+動詞の過去形, S+助動詞の過去形+動詞の原形>を用いて、「現在の事実と異なる仮定」を、「過去の事実と異なる仮定」を表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 仮定法を用いる状況に付随する状況を述べる表現などを習得しようとしている。</p>
2	単元21	2	中間	<p>【単元名】 A Birthday Gift</p> <p>【目標】 [表現] 名詞の働きをする節や、時・理由・条件を表す節を、英語で表現できる。 [話題] プレゼントを贈る場面などについて、英語で表現できる。</p>	<p>「～であること」「～かどうか」や、「～するとき」「～なので」「もし～ならば」の意味を表す表現</p>					<p>【知識・技能】 英語で「～であること」「～かどうか」や、「～するとき」「～なので」「もし～ならば」の意味を表すにはどのような表現を用いるのかを理解している。 【思考・判断・表現】 適切な場面において、名詞節を導く that, if/whether や、副詞節を導く when, because, if を用いて、従節を含む文を表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 名詞節を目的語にとる述語動詞や、when, because, if, though[although] と共起する表現などを習得しようとしている。</p>
2	単元22	2	中間	<p>【単元名】 School Life</p> <p>【目標】 [機能] 英語で勧誘・提案を行うことができる。 [話題] 学校生活について英語で表現できる。</p>	<p>「勧誘」「提案」をする表現</p>					<p>【知識・技能】 英語で「勧誘」「提案」するにはどのような表現を用いるのかを理解している。 【思考・判断・表現】 適切な場面において、自分の考えが理解されるように、Would you like to ~ ?, Let's ~, Shall we ~ ?, Why don't we ~ ?, How about ~ ? を用いて「勧誘」「提案」を述べる。 【主体的に学習に取り組む態度】 さまざまなクラブ活動や学校行事、学食のメニューを述べる表現などを習得しようとしている。</p>
2	単元23	2	期末	<p>【単元名】 School Subjects</p> <p>【目標】 [機能] 英語で依頼する、理由を聞く・述べるができる。 [話題] 学校の教科について英語で表現できる。</p>	<p>「依頼する」「理由を聞く・述べる」表現</p>					<p>【知識・技能】 英語で「依頼する」「理由を聞く・述べる」にはどのような表現を用いるのかを理解している。 【思考・判断・表現】 適切な場面において、自分の考えが理解されるように、Will you do me a favor?, Can you ~ ?, Could you (please) ~ ?, Why ~ ?, Because... を用いて「依頼する」「理由を聞く・述べる」表現を行う。 【主体的に学習に取り組む態度】 さまざまな教科・科目を表す語句などを習得しようとしている。</p>
2	単元24	2	期末	<p>【単元名】 Free Time</p> <p>【目標】 [機能] 英語で確認・訂正を行うことができる。 [話題] 余暇の過ごし方について英語で表現できる。</p>	<p>「確認」「訂正」をする表現</p>					<p>【知識・技能】 英語で「確認」「訂正」するにはどのような表現を用いるのかを理解している。 【思考・判断・表現】 適切な場面において、自分の考えが理解されるように、付加疑問、actually, You mean ~ ? を用いて「確認」「訂正」の意味を表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 余暇の過ごし方や身の回りのことを述べる表現などを習得しようとしている。</p>

2	単元 25	2	期末	<p>【単元名】 Feeling Well?</p> <p>【目標】 [機能] 英語で心配を表す、助言を行うことができる。 [話題] 体調などに関して英語で表現できる。</p>	「心配する」「助言する」ときの表現					<p>【知識・技能】 英語で「心配する」「助言する」にはどのような表現を用いるのかを理解している。 【思考・判断・表現】 適切な場面において、自分の考えが理解されるように、What's the matter?, I think you should ~, It would be good for you to ~ などを用いて、「心配する」「助言する」表現を行う。 【主体的に学習に取り組む態度】 そのほか、病気やけがの名称、症状や原因・状況、対処に関する語句や表現などを習得しようとしている。</p>
2	単元 26	2	期末	<p>【単元名】 Housework</p> <p>【目標】 [機能] 英語で義務・必要を述べることができる。 [話題] 家事について英語で表現できる。</p>	「義務」「必要」を述べるときの表現					<p>【知識・技能】 英語で「義務」「必要」を述べるにはどのような表現を用いるのかを理解している。 【思考・判断・表現】 適切な場面において、自分の考えが理解されるように、need to, (don't) have to, be supposed to を用いて「義務」「必要」の意味を表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 家事を表す語句やその関与を述べる表現などを習得しようとしている。</p>
2	単元 27	2	期末	<p>【単元名】 The Internet Is Fun</p> <p>【目標】 [機能] 英語で期待・確信を述べることができる。 [話題] インターネットに関して英語で表現できる。</p>	「期待」「確信」を述べるときの表現					<p>【知識・技能】 英語で「期待」「確信」を述べるにはどのような表現を用いるのかを理解している。 【思考・判断・表現】 適切な場面において、自分の考えが理解されるように、can't wait to, look forward to, be certain[sure] を用いて「期待」「確信」を述べる。 【主体的に学習に取り組む態度】 インターネットの歴史や、長所・短所を述べる表現などを習得しようとしている。</p>
2	単元 28	2	期末	<p>【単元名】 I've Lost Your Book</p> <p>【目標】 [機能] 英語で謝罪する、謝罪に応じることができる。 [話題] 失敗したことなどについて英語で表現できる。</p>	「謝罪する」「謝罪に応じる」ときの表現					<p>【知識・技能】 英語で「謝罪する」「謝罪に応じる」にはどのような表現を用いるのかを理解している。 【思考・判断・表現】 適切な場面において、自分の考えが理解されるように、I'm sorry ~, Excuse me for ~, etc. を用いて「謝罪する」「謝罪に応じる」表現を行う。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の過失を説明する表現などを習得しようとしている。</p>
2	単元 29	2	期末	<p>【単元名】 Planning a Trip</p> <p>【目標】 [機能] 英語で計画・予定を述べることができる。 [話題] 旅行や休日の計画を英語で表現できる。</p>	「計画」「予定」を述べるときの表現					<p>【知識・技能】 英語で「計画」「予定」を述べるにはどのような表現を用いるのかを理解している。 【思考・判断・表現】 適切な場面において、自分の考えが理解されるように、be planning to, be going to, be thinking of, 進行形を用いて「計画」「予定」を述べる。 【主体的に学習に取り組む態度】 予定・計画される行動の内容を述べる表現などを習得しようとしている。</p>
2	単元 30	2	期末	<p>【単元名】 Experiences Abroad</p> <p>【目標】 [機能] 英語で感想を尋ねる・述べるることができる。 [話題] 旅行などでの経験について英語で表現できる。</p>	「感想を尋ねる・述べる」ときの表現					<p>【知識・技能】 英語で「感想を尋ねる・述べる」にはどのような表現を用いるのかを理解している。 【思考・判断・表現】 適切な場面において、自分の考えが理解されるように、How did you like ~?, I found it ~, My best experience was ~ を用いて「感想を尋ねる・述べる」表現を行う。 【主体的に学習に取り組む態度】 旅行での経験を述べる表現などを習得しようとしている。</p>
2	単元 31	2	期末	<p>【単元名】 Exchange Students</p> <p>【目標】 [機能] 英語で程度・結果を述べることができる。 [話題] 人の性格や特徴などについて英語で表現できる。</p>	「程度・結果を述べる」ときの表現					<p>【知識・技能】 英語で「程度・結果を述べる」にはどのような表現を用いるのかを理解している。 【思考・判断・表現】 適切な場面において、自分の考えが理解されるように、so ~ that ..., ~ enough to do を用いて「程度・結果」の意味を表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 人の性格や特徴などを示す語句や、人を紹介する際の表現などを習得しようとしている。</p>

2	単元 32	2	期末	<p>【単元名】 I Want to Be a ...</p> <p>【目標】 【機能】英語で願望・目的を述べる ことができる。</p> <p>【話題】職業について英語で表現 できる。</p>	「願望」「目的」を述べる にはどのような表現 を用いるのかを理 解しているときの表 現					<p>【知識・技能】 英語で「願望」「目的」を述べるにはどのような表現 を用いるのかを理解している</p> <p>【思考・判断・表現】 適切な場面において、自分の考えが理解されるよう に、What do you want to do?, in order to do, would like to do, so that ~, have a dream of doing を用 いて、「願望」「目的」を述べる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 職業などを示す語句や、それに必要な資質を述べる 表現などを習得しようとしている。</p>
3	単元 33	2	学年末	<p>【単元名】 Cheer Up Your Friend</p> <p>【目標】 【機能】英語で同情・共感する、 励ますことができる。</p> <p>【話題】悩みごとについて英語で 表現できる。</p>	「同情・共感する」「励 ます」ときの表現					<p>【知識・技能】 英語で「同情・共感する」「励ます」にはどのような表 現を用いるのかを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 適切な場面において、自分の考えが理解されるよう に、What's bothering you?, I'm very sorry to hear ~, Is everything all right?, etc. を用いて「同情・共 感する」「励ます」気持ちを表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 自分の過失や不幸な出来事やを述べる表現などを 習得しようとしている。</p>
3	単元 34	2	学年末	<p>【単元名】 Farewell Party</p> <p>【目標】 【機能】英語で感謝・喜びの気持 ちを述べるができる。</p> <p>【話題】送別の場面などについて 英語で表現できる。</p>	「感謝」「喜び」を表す ときの表現					<p>【知識・技能】 英語で「感謝」「喜び」を表すにはどのような表現を 用いるのかを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 適切な場面において、自分の考えが理解されるよう に、Thanks a lot for ~, I'm glad ~, etc. を用いて 「感謝」「喜び」の気持ちを表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 学校生活の思い出や親切な行為を述べる表現など を習得しようとしている。</p>
3	単元 35	2	学年末	<p>【単元名】 Saving Resources</p> <p>【目標】 【機能】英語で賛成・反対を述べ ることができる。</p> <p>【話題】環境問題について英語で 表現できる。</p>	「賛成する」「反対す る」ときの表現					<p>【知識・技能】 英語で「賛成する」「反対する」にはどのような表現 を用いるのかを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 適切な場面において、自分の考えが理解されるよう に、agree with, be in favor of [against] ~, etc. を 用いて「賛成する」「反対する」表現を行う。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 賛成・反対の意見を述べるときは、claim and reasoning (主張と理由づけ)を明確にする発言の仕 方を習得しようとしている。</p>
3	単元 36	2	学年末	<p>【単元名】 Social Problems</p> <p>【目標】 【機能】英語で意見を尋ねる・述 べるができる。</p> <p>【話題】社会問題について英語で 表現できる。</p>	「意見を尋ねる・述べ る」ときの表現					<p>【知識・技能】 英語で「意見を尋ねる・述べる」にはどのような表現 を用いるのかを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 適切な場面において、自分の考えが理解されるよう に、How do you feel about ~?, etc., it seems to me that ~, etc., In my opinion, ~, etc. を用いて 「意見を尋ねる・述べる」表現を行う。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 自分の意見を述べるときは、説得力を持たせるた めに適切な理由を添えて述べる点を習得しようと している。</p>

令和6年度(3学年用)年間授業計画 都立農業高等学校全日制課程

教科	家庭	単位数	年間授業時数(予定:単位数×35時間)
科目	選択 フードデザイン	2	70時間

対象学年組 第3学年 1~4 組

使用教科書 実教出版「フードデザイン」

科目:「選択 フードデザイン」の目標, 評価方法

	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
目標	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識を体系的に理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	自分自身の食生活や、食環境が大きく変化している現状に課題を見つけ、思考を深める。自分の考えをまとめ、より適切な食生活の判断ができる。	食の役割に関心を持ち、作ることから食べるところまでを総合的にとらえて計画する意欲と実践的な態度を身につけようとしている。
評価方法	定期テスト 実技試験 レポート ワークシート	定期テスト(論述問題など) 実技試験 レポート ワークシート 観察(学習状況、実習など) 学習の振り返り	ワークシート レポート 観察(学習状況、発表、実習観察、授業中の発言など) 学習の振り返り

学期	通し番号	配当 時数	定期 考査 範囲	単元名・目標	指導項目・内容	評価基準 (おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述)								
1	単元1	15	期末	<p>【単元名】 調理の基本</p> <p>【目標】 計量の方法、食品の切り方、加熱調理器具ごとの特徴などについて学ぶことを通して、調理に関する基本的な知識を理解し、日常食、行事食、供応食などの調理に必要な調理技術の基礎を身につけようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・調理とおいしさ、調理操作、食品の衛生と安全 ・教材 ・一人1台端末の活用等 									<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全性、栄養性、おいしさなどの面から、調理の目的を理解している。 ・非加熱調理と加熱操作の種類とそれぞれの特徴を理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理操作が料理の出来上がりを与える影響を、具体的に考え、工夫している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際にさまざまな調理操作を試して、取り組もうとしている。 ・調理器具の特徴としくみを理解し、具体的に試してみようとしている。
1	単元2	15	期末	<p>【単元名】 フードデザイン実習Ⅰ 日常食の調理</p> <p>【目標】 和風料理、洋風料理、中国料理、郷土料理、行事食など、さまざまな献立に取り組むことを通して、献立の要素を理解するとともに調理技術を習得する。あわせて衛生面と安全に配慮した食品の取り扱いと、調理操作を身に付けようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・食品の特徴と性質、食品の選択と表示、料理様式と献立、食品の衛生と安全 ・教材 ・一人1台端末の活用等 									<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・献立の構成や栄養、嗜好、費用、食品、調理法、季節感などの要素を理解している。 ・食事のテーマに応じた献立要素、食材の選択と調理、テーブルコーディネート等について理解している。 ・衛生面と安全に配慮した食品の取り扱いと、調理操作を身に付けている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・献立テーマを具体的にとらえ、適切に食材を調理することができている。 ・環境に配慮した食材の選択や調理方法を考え、工夫している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・献立のテーマに応じた調理法、食材の選択や段取りなどを総合的に考え、職員と協同して調理に取り組もうとしている。

2	単元3	15	期末	<p>【単元名】 フードデザイン実習Ⅱ 日常食の調理</p> <p>【目標】 和風料理、洋風料理、中国料理、郷土料理、行事食など、さまざまな献立に取り組むことを通して、献立の要素を理解するとともに調理技術を習得する。あわせて衛生面と安全に配慮した食品の取り扱いと、調理操作を身に付けようとしている。</p>	<p>・食品の特徴と性質、食品の選択と表示、料理様式と献立、食品の衛生と安全</p> <p>・教材</p> <p>・一人1台端末の活用等</p>					<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・献立の構成や栄養、嗜好、費用、食品、調理法、季節感などの要素を理解している。 ・食事のテーマに応じた献立要素、食材の選択と調理、テーブルコーディネート等について理解している。 ・衛生面と安全に配慮した食品の取り扱いと、調理操作を身に付けている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・献立テーマを具体的にとらえ、適切に食材を調理することができている。 ・環境に配慮した食材の選択や調理方法を考え、工夫している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・献立のテーマに応じた調理法、食材の選択や段取りなどを総合的に考え、班員と協同して調理に取り組もうとしている。
2	単元4	15	期末	<p>【単元名】 健康と食生活</p> <p>【目標】 食事の役割を理解するとともに食を取り巻く現状について学び現代の日本の食生活の問題点について考え、課題を解決しようとしている。</p>	<p>・食事の意義と役割、食を取り巻く現状</p> <p>・教材</p> <p>・一人1台端末の活用等</p>					<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の食生活の現状と、青年期の食生活の課題を理解している。 ・日本の食生活の課題を把握し、自身の食生活について考察している。 ・将来の健康の基礎が青年期の食生活と関係していることに気づくことができている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事の役割を自分ごととしてとらえ、自分の食生活を見直そうとしている。
3	単元5	10	期末	<p>【単元名】 栄養素の働きと食事計画 献立と調理</p> <p>【目標】 食事テーマを設定し、それに応じた献立を具体的に考えることを通じて、ライフステージごとの栄養の特徴について理解を深める。これまで学んだ知識、技術を総合的に実践し、自分の食生活に生かそうとしている。</p>	<p>・食事摂取基準と食事計画、ライフステージと栄養計画、献立作成</p> <p>・教材</p> <p>・一人1台端末の活用等</p>					<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・献立の構成や栄養、嗜好、費用、食品、調理法、季節感などの要素を理解している。 ・各ライフステージの栄養について理解し、ライフステージに応じた食事計画を立てる力を身に付けている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事テーマを具体的に設定し、それに適した献立を考え、適切に食材を選択することができている。 ・環境に配慮した食材の選択や調理方法を考え、工夫している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事のテーマに応じた献立作成、食材の選択と調理、に意欲、関心を持って取り組み、学んだことを自分の食生活の向上に生かそうとしている。

令和6年度(3学年用)年間授業計画 都立農業高等学校全日制課程

教科		家庭		単位数	年間授業時数(予定:単位数×35時間)	
科目		選択 手芸基礎		2	70時間	
対象学年組 第3学年 1～5(4組除く)組、 組、 組、 組、 組						
使用教科書 ファッション造形						
科目:「選択 手芸基礎」の目標, 評価方法						
		【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】		【学びに向かう力、人間性等】
目標		刺繍の各種技法の特徴を理解し、表現したいものに適切に技法を用いることができる。		製作する作品の布の厚さ、特徴に合わせて、適切に刺繍の技法を用い作品製作できる。		積極的に作品製作に取り組み、友人の作品を評価できより良い作品を製作しようとする姿勢がみられる。
評価方法		定期テスト 小テスト レポート ワークシート				ワークシート 観察(学習状況、討論・発表、行動観察、授業中の発言など) 生徒による自己評価や相互評価 学習の振り返り
学期	通し番号	配当 時数	定期 考査 範囲	単元名・目標	指導項目・内容	評価基準 (おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述)
1	単元 1	24	中間・ 期末	【単元名】 刺繍 【目標】 刺繍の各技法と特徴を理解し美しく刺すことができる。	・指導事項 ストレートステッチ ループステッチ、れ ぜーデージーステッ チ、スパイダーローズ ステッチ	【知識・技能】 各種刺繍の技法と特徴を理解している。 【思考・判断・表現】 表現したいものに適した素材、糸の太さが選択できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業時間内に指示された技法を理解し完成させようとしている。未完成の技法は次回までに仕上げてくる。
2	単元 2	30	中間・ 期末	【単元名】 ビスコーニュ製作、ビーズ刺繍 【目標】 学習した刺しゅう技法を用いビスコーニュを完成させる。	アウトラインS、バック S、サテンS、バリオン ローズS、フレンチノ ットS、ビーズ返し刺 し、押さえ刺し。花刺 しなど	【知識・技能】 各種刺繍の技法と特徴を理解している。 【思考・判断・表現】 表現したいものに適した素材、糸の太さが選択できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業時間内に指示された技法を理解し完成させようとしている。未完成の技法は次回までに仕上げてくる。
3	単元 3	16	中間・ 期末	【単元名】 日常着の装飾 【目標】 日常着に刺繍の技法を応用して装飾を加える。	日常着のすそ、衿ぐ りなどに刺繍を配置し リメイクする。	【知識・技能】 各種刺繍の技法と特徴を理解している。 【思考・判断・表現】 表現したいものに適した素材、糸の太さが選択できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業時間内に指示された技法を理解し完成させようとしている。未完成の技法は次回までに仕上げてくる。

令和6年度(3学年用)年間授業計画 都立農業高等学校全日制課程

教科		国語		単位数	年間授業時数(予定:単位数×35時間)				
科目		国語と表現		2	70時間				
対象学年組 第3学年 1組～5組									
使用教科書 国語表現(大修館書店)									
科目:「国語と表現」の目標, 評価方法									
		【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】		【学びに向かう力、人間性等】			
目標		言葉の働きを理解し、話し言葉と書き言葉の違いに気づく。語彙を豊富にし、適切な漢字や表現を用いて、文章を書くことができる。		与えられたテーマや課題に沿った文章やスピーチの構成を考え、効果的な具体例を盛り込んで、自分らしい表現活動を行うことができる。		互いの人格を尊重し、仲間と協働的に課題を解決しようとする。積極的に討論等に取り組む。			
評価方法		定期テスト 小テスト レポート ワークシート		定期テスト(論述問題など) 小テスト レポート ワークシート 観察(学習状況、討論・発表など) 学習の振り返り		ワークシート 観察(学習状況、討論・発表、行動観察、授業中の発言など) 生徒による自己評価や相互評価 学習の振り返り			
学期	通し番号	配当時数	定期 考査 範囲	単元名・目標	指導項目・内容	領域			評価基準 (おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述)
						話	聞	書 読	
1	単元1	6	期末	【単元名】言葉と出会う 【目標】仮名遣いや漢字等の正しい表記について理解し、接続詞や主・述の係り受けに注意して、わかりやすい文章を書くこととする。	・教材 「言葉と表記」「整った文を書く」「わかりやすい文を書く」	○	○	○	【知識・技能】正しい表記法や、主・述の係り受けについて、理解している。 【思考・判断・表現】文章の種類に合わせて簡潔で、わかりやすい表現ができています。 【主体的に学習に取り組む態度】効果的な具体例や、独自な表現を工夫している。
1	単元2	6	期末	【単元名】伝える、伝え合う 【目標】自己紹介や、他者紹介を通して、相手に自分の言いたいことをわかりやすく伝える。	・教材 「自己紹介ゲーム」「言葉のストレッチ体操」	○	○	○	【知識・技能】ゲームのルールについて、理解している。 【思考・判断・表現】適切な分量の、わかりやすい表現ができています。 【主体的に学習に取り組む態度】効果的な具体例や、独自な表現を工夫している。
1	単元3	6	期末	【単元名】小論文・レポート入門 【目標】小論文とは何かを理解し、その基本的な書き方について考える。	・教材 「小論文とは何か」「テーマ型小論文を書く」「論文を書くために」	○	○	○	【知識・技能】小論文とは何かについて、理解している。 【思考・判断・表現】適切な分量の、わかりやすい表現ができています。 【主体的に学習に取り組む態度】効果的な具体例や、独自な表現を工夫している。
1	単元4	8	期末	【単元名】自己PRと面接 【目標】自分の過去や現在を見つめ、「自分」を他者にアピールする力を身につける。	・教材 「自分を見つめて」「効果的な自己PR」「志望理由を書く」	○	○	○	【知識・技能】自己PRとは何かについて、理解している。 【思考・判断・表現】適切な分量の、わかりやすい表現ができています。 【主体的に学習に取り組む態度】効果的な具体例や、独自な表現を工夫している。
2	単元5	8	期末	【単元名】小論文・レポートを書く 【目標】自分の意見の理由・根拠を示しながら、論理的に文章を書くこととしている。	・教材 「反論を想定して書く」「課題文型小論文を書く」「データ型小論文を書く」	○	○	○	【知識・技能】説得力のある文章とは何かについて、理解している。 【思考・判断・表現】適切な分量の、わかりやすい表現ができています。 【主体的に学習に取り組む態度】効果的な具体例や、独自な表現を工夫している。
2	単元6	8	期末	【単元名】会話・議論・発表 【目標】相手や場面によってふさわしい話し方をしようとしている。	・教材 「スピーチをしよう」「プレゼンテーションの工夫」	○	○	○	【知識・技能】相手や場面に応じた表現のあり方について、理解している。 【思考・判断・表現】適切な分量の、わかりやすい表現ができています。 【主体的に学習に取り組む態度】効果的な具体例や、独自な表現を工夫している。
2	単元7	8	期末	【単元名】メディアを駆使する 【目標】さまざまなメディアの特性を知り、使いこなそうとしている。	・教材 「ネット社会との付き合い方」「メディアと情報」	○	○	○	【知識・技能】メディアの特性と情報の吟味と仕方について、理解している。 【思考・判断・表現】適切な分量の、わかりやすい表現ができています。 【主体的に学習に取り組む態度】効果的な具体例や、独自な表現を工夫している。

2	単元 8	8	期末	<p>【単元名】グループディスカッションをしよう</p> <p>【目標】 与えられたテーマについて意見交換をする中で、考えを深めようとしている。</p>	・教材 「実践トレーニング」	○	○	○	<p>【知識・技能】 他者との意見交換をすることの意義について、理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 適切な分量の、わかりやすい表現ができている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 効果的な具体例や、独自の表現を工夫している。</p>
3	単元 9	6	期末	<p>【単元名】表現を楽しむ</p> <p>【目標】 高校生活を振り返り、自分の心情を自由に表現しようとしている。</p>	・教材 「エッセイを書こう」	○	○	○	<p>【知識・技能】 優れたエッセイ作品の特徴について、理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 適切な分量の、わかりやすい表現ができている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 効果的な具体例や、独自の表現を工夫している。</p>
3	単元 10	6	期末	<p>【単元名】ディベートを楽しむ</p> <p>【目標】 多様な考え方があることを知り、説得力のある表現をしようとしている。</p>	・教材 「演説合戦にチャレンジ」	○	○	○	<p>【知識・技能】 説得力のある論理的な表現について、理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 適切な分量の、わかりやすい表現ができている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 効果的な具体例や、独自の表現を工夫している。</p>

令和6年度(3学年用)年間授業計画 都立農業高等学校全日制課程

教科		数学		単位数	年間授業時数(予定:単位数×35時間)	
科目		数学演習		2	70時間	
対象学年組 第3学年 1組、2組、3組、4組、5組						
使用教科書 (使用教材 対策ドリル SPI)						
科目:「数学演習」の目標, 評価方法						
		【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】		【学びに向かう力、人間性等】
目標		仕事をする上での基本的な計算能力を身につけることができる。小学、中学レベルの数学や理科のレベルではあるがスピードと正確さを保ちつつ各問題に取り組むことができる。		数学分野における将来の予測や、仕事をする上で必要になる思考力や判断力を問題を解きつつ、高めることができる。		仕事をする上で必要になってくる論理的思考能力を高めつつ、問題に取り組むことができる。具体的には、各分野における発展的な問題に意欲を持って取り組み解決することができる。
評価方法		定期テスト		定期テスト		定期テスト 提出物 授業態度
学期	通し番号	配当 時数	定期 審査 範囲	単元名・目標	指導項目・内容	評価基準 (おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述)
1	単元1	7	中間・期末	【単元名】 日常のお金に関する計算 【目標】 損益算が解ける。 貸し借りを考えて、代金精算の問題が解ける。	値段と利益 代金の支払い	【知識・技能】 値段と利益を計算できる。 支払われる代金を計算できる。 【思考・判断・表現】 損益算が解ける。 貸し借りを考えて、代金精算の問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 複雑な事柄に対する計算問題に対しても積極的に取り組もうとしている。
1	単元2	14	中間・期末	【単元名】 速さ・時間に関する問題 【目標】 速度算が解ける。 電車の長さを考え、速さ・時間・速度の関係を理解し、問題が解ける。 流水算が解ける。 仕事算が解ける。	速さ 電車の通過 川の上の船の速さ 仕事と水槽の計算	【知識・技能】 ・速度算が解ける。 ・流水算が解ける。 【思考・判断・表現】 ・電車の長さを考え、速さ・時間・速度の関係を理解し、問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 仕事の時間や水槽の水がいっぱいになる計算問題に対しても積極的に取り組もうとしている。
1-2	単元3	14	中間・期末	【単元名】 様々な計算 【目標】 濃度の計算ができる。 年齢算ができる。 植木算ができる。 鶴亀算ができる。	濃度の計算 年齢の計算 植木の本数 鶴亀算	【知識・技能】 簡単な濃度の計算ができる。 年齢の計算ができる。 【思考・判断・表現】 図等を使い考えつつ植木の本数を計算できる。 動物の足の本数等を考慮しつつ求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 異なる濃度の食塩水を混ぜたものの濃度も計算することができる。
2	単元4	14	中間・期末	【単元名】 関数とグラフ 【目標】 ～を通して、～について理解する。～を考える。～しようとしている。	関数とグラフ グラフと範囲 図表の見方 ブラックボックス 数列	【知識・技能】 ・散布図や図表からの読み取りができる。 簡単な数列から未知の数を推察することができる。 【思考・判断・表現】 ・関数を理解し、簡単な問題が解ける。 ・ブラックボックスの規則を考え、問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 グラフや図表をしっかりととらえ、関数やグラフ、数列に関する数を求めることに対し、積極的に取り組もうとしている。

2	単元5	7	<p>【単元名】 場合の数</p> <p>【目標】 関数を理解し、簡単な問題が解ける。 散布図や図表からの読み取りができる。 ブラックボックスの規則を考え、問題が解ける。 数列を理解し、簡単な問題が解ける。</p>	場合の数 確率		<p>【知識・技能】 場合の数を計算できる。 簡単な確率を求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 組合せや順列を計算することができる。 組合せや順列の考えを利用した確率を求めることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 複雑な事柄に対する場合の数や確率に対しても積極的に取り組もうとしている。</p>
3	単元6	14	<p>【単元名】 集合と命題</p> <p>【目標】 順列や組合せ等の考えを用い、場合の数や確率を求めることができる。 集合の考え方を用いて、要素の個数を求めることができる。 与えられた条件から推理し、並び方や大小を求める問題を解くことができる。 命題の真偽を考え、問題を解くことができる。</p>	集合 推理 命題		<p>【知識・技能】 和集合の数を求めることができる。 命題の真偽を調べることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 和集合や補集合を用いて、問題を解くことができる。 逆、裏、対偶を答えることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 指定された順番で並べることができる。</p>

令和6年度(3学年用)年間授業計画 都立農業高等学校全日制課程

教科	数学		単位数	2	年間授業時数(予定・単位数×35時間)	70時間
科目	数学A演習					
対象学年組	第3学年1組、2組、3組、4組					
使用教科書	数研出版最新数学A					
科目:「数学A演習」の目標, 評価方法						
	【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】		【学びに向かう力、人間性等】	
目標	図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。		図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を蓄積し、学習や生活に生かすことができる。		数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとし、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養おうとする。	
評価方法	定期テスト		定期テスト(応用問題・文章問題など)		・定期テスト ・学習状況等授業態度 ・提出物等	
学期	通し番号	配当時数	定期 考査 範囲	単元名・目標	指導項目・内容	評価基準 (おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述)
1	単元 1	30	中間・ 期末	<p>【単元名】 場合の数・確率</p> <p>【目標】 場合の数を求めるときに基本的な考え方についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。また、確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。</p>	<p>【指導項目・内容】 集合 集合の要素の個数 樹形図、和の法則、積の法則 順列 円順列と重複順列 組合せ 確率の意味 確率の計算 確率の基本性質 和事象の確率 余事象の確率 独立な試行の確率 反復試行の確率 条件付き確率 期待値</p>	<p>【知識・技能】 集合をそれぞれの場合に適した形で表すことができる。 共通部分、和集合、補集合を求めることができる。 要素を書き並べて表して、集合の要素の個数を求めることができる。 和集合の要素の個数の公式を用いることができる。 補集合の要素の個数の公式を用いることができる。 日常的な事象に対して集合を考え、人数などを求めることができる。 場合の数を、もれなく重複なく数える手段として、樹形図が有用であることを理解している。 樹形図や和の法則、積の法則を用いることができる。 順列の用語、記号、公式を理解し、利用できる。 具体的な問題を通じて、どのような場合に順列の考え方が適用できるかを見極めることができる。 円順列の用語、公式を理解し、利用できる。 重複順列の用語、公式を理解し、利用できる。 組合せの用語、記号、公式を理解し、利用できる。 組分けの問題を処理できる。 同じものを含む順列の総数を求めることができる。 確率の意味を理解している。 事象を集合で表すことができる。 試行や事象の定義を理解している。 確率の定義に基づき、事象の確率を求めることができる。 積事象、和事象の意味を理解し、具体的な事象に対して、積事象、和事象を集合で表すことができる。 事象の排反の意味を理解し、2つの事象が排反であるかを判断できる。 確率の加法定理を用いて、確率を求めることができる。 一般の和事象の確率を求めることができる。 余事象の確率の公式を利用して、確率を求めることができる。 独立な試行の意味を理解している。 独立な試行の確率を、公式を用いて求めることができる。 反復試行の確率を、公式を用いて求めることができる。 条件付き確率の定義、意味を理解している。 条件付き確率を、公式を用いて求めることができる。</p>

3	単元 3	10	学 年 末	<p>【単元名】 約数と倍数・1次不定方程式・記数法・座標の考え方・ゲーム・パズルの中の数学</p> <p>【目標】 さまざまな人間の活動の中から、整数を中心とした数学的な要素を見出し、数学の内容の理解を深めると同時に、現実の事象を、数学を用いて考察できるような力を培う。</p>	<p>【指導項目・内容】 約数と倍数 素数と素因数分解 整数の割り算 最大公約数 ユークリッドの互除法 1次不定方程式 古代の記数法 現代の記数法 平面上の点の位置 空間上の点の位置 ゲームの中の数学 パズルの中の数学</p>	<p>【知識・技能】 約数・倍数の意味を理解している。 「エラトステネスのふるい」を利用して、100以下の素数を求めることができる。 自然数の素因数分解を求めることができる。 整数 a を正の整数 b で割る割り算を、a と b の間に成り立つ等式として捉えることができる。 カレンダーの曜日の規則と整数の割り算の関係を理解し、問題を処理することができる。 公約数、最大公約数の意味を理解し、それらを求めることができる。 素因数分解を利用して最大公約数を求める方法を理解している。また、互いに素の意味を理解し、2つの整数が互いに素であるかどうか判定できる。 互除法の原理を理解し、互除法を用いて2数の最大公約数を求めることができる。 1次不定方程式の特殊解を求め、それによりすべての整数解を求めることができる。 象形文字、ローマ数字について理解している。 記数法、10進法、2進法、n進法について理解している。 n進法の整数を10進法で、10進法の整数をn進法で表すことができる。 座標の考え方を理解している。 地上における特定の地点を、座標平面上の点と捉えて位置を座標で表現できる。 平面上の点における考え方を座標空間の点まで広げて考えることができる。 ゲームの設定を多面的かつ論理的に考え、ゲームで勝つ方法を導くことができる。 魔方陣の構造を理解し、魔方陣を完成できる。 魔方陣の構造を考察し、成り立つと推察される性質について実際に成り立つことを証明できる。</p> <p>【思考・判断・表現】 問題解決の過程を振り返って、割り算の余りの性質について考察を深めることができる。 現代の記数法を古代の記数法と比較し、特徴を理解している。 平面上の点の位置を特定するために、条件から図形の性質に着目し、適切な定理を利用して考察することができる。 ゲームの設定を論理的に考察することができる。 パズルの仕組みを論理的に考察することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 日常生活における具体的な事象の考察に、約数と倍数の考えを活用しようとする。 数学史に興味・関心をもつ。 暗号技術に素因数分解の考えが活用されていることに興味・関心をもつ。 カレンダーの話題を通じて、日常に関連した法則や規則を数学を用いてとらえることに興味・関心をもつ。 互除法の原理の証明に興味・関心をもつ。 数学史に興味・関心をもつ。 互除法の計算を逆にたどることにより、1次不定方程式の整数解の1つを必ず見つけられる優秀性に関心をもつ。 数学史の話題を通じて、数の表し方に興味・関心をもつ。 コンピュータなどの身近な物に、n進法の考え方が活用されていることに興味・関心をもつ。 平面上の点の位置に関する問題を、座標平面上で代数的に解決する解法のよさを知ろうとする。 GPSにおいて、座標の考えが活用されていることに興味・関心をもつ。 ゲームの必勝法に興味・関心をもつ。</p>
---	---------	----	-------------	--	---	---

令和6年度(3学年用)年間授業計画 都立農業高等学校全日制課程

教科		理科		単位数	年間授業時数(予定:単位数×35時間)	
科目		応用化学		2	70時間	
対象学年組 第3学年 1組、 2組、 3組、 4組、 5組						
使用教科書 数研出版 化学						
科目:「応用化学」の目標, 評価方法						
		【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】		
目標		有機化学に関する基礎的な知識・考え方を理解する。 有機化学に関する基礎的な実験を実施することができる。	有機化学に関する基礎的な知識を活用して、有機化合物の性質や反応性について推測することができる。 有機化学の知識を活用して、農業科・家庭科の専門的な知識と関連付け、専門の学習や日常生活に生かすことができる。	実験を協働的に行い、課題を解決しようとする。 有機化学の知識を活用し、よりよい生活への発展に貢献しようとする。		
評価方法		定期テスト 小テスト 実験レポート 問題集	定期テスト(論述問題など) 小テスト 実験レポート 問題集 学習の振り返り	問題集 実験レポート 生徒による自己評価や相互評価 学習の振り返り		
学期	通し番号	配当時数	定期 考査 範囲	単元名・目標	指導項目・内容	評価基準 (おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述)
1	単元1	15	中間・期末	【単元名】 有機化合物の基礎 【目標】 有機化合物と無機化合物の違いを確認し、有機化合物の特徴と分類、構造式等の書き方等を理解する。 官能基の構造と性質について学習し、理解する。	授業にて有機化合物について説明する。 例題や問題演習、実験を通して、理解を深める。 課題などをFormsなどをICTを活用して行う。	【知識・技能】 有機化合物と無機化合物の違いを理解している。 有機化合物の基礎的な知識を獲得している。 【思考・判断・表現】 有機化合物の構造式などから、有機化合物の性質や反応性を推測できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 未知の知識や実験技術に対して、協働的に解決しようとしている。
1	単元2	15	中間・期末	【単元名】 脂肪族化合物 【目標】 炭化水素について学習し、炭素原子と水素原子のみで構成される物質の特徴と性質について理解する。	炭化水素について学習し、炭素原子と水素原子のみで構成される物質の特徴と性質について理解する。 例題や問題演習、実験を通して、理解を深める。 課題などをFormsなどをICTを活用して行う。	【知識・技能】 脂肪族化合物の基礎的な知識を獲得している。 【思考・判断・表現】 有機化合物の構造式などから、有機化合物の性質や反応性を推測できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 未知の知識や実験技術に対して、協働的に解決しようとしている。
1	単元3	10	中間・期末	【単元名】 官能基の性質 【目標】 官能基について学習し、構造式からその物質の性質について理解する。	アルコール、エーテル、アルデヒド、ケトン、カルボン酸、エステルについて学習し、官能基によってどのような性質を示し、身近でどのように活用されているかを理解する。 例題や問題演習、実験を通して、理解を深める。 課題などをFormsなどをICTを活用して行う。	【知識・技能】 様々な官能基の構造と性質の知識を獲得している。 【思考・判断・表現】 有機化合物の構造式などから、有機化合物の性質や反応性を推測できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 未知の知識や実験技術に対して、協働的に解決しようとしている。

1	単元4	10	中間・期末	<p>【単元名】 天然高分子化合物</p> <p>【目標】 単糖類を中心として、二糖類・多糖類、アミノ酸・タンパク質等の構造や性質を理解する。</p>	<p>糖類・炭水化物・タンパク質・アミノ酸・脂肪・核酸について学習し、それぞれどのような性質を示し、生活にどのように活用されているかを理解する。 例題や問題演習、実験を通して、理解を深める。 課題などをFormsなどをICTを活用して行う。</p>	<p>【知識・技能】 天然高分子の基礎的な知識を獲得している。</p> <p>【思考・判断・表現】 有機化合物の構造式などから、有機化合物の性質や反応性を推測できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 未知の知識や実験技術に対して、協働的に解決しようとしている。</p>
2	単元5	10	中間・期末	<p>【単元名】 合成高分子化合物</p> <p>【目標】 合成高分子の構造や性質を理解する。</p>	<p>合成高分子について学習し、それぞれどのような性質を示し、生活にどのように活用されているかを理解する。 例題や問題演習、実験を通して、理解を深める。 課題などをFormsなどをICTを活用して行う。</p>	<p>【知識・技能】 有機化合物と無機化合物の違いを理解している。 有機化合物の基礎的な知識を獲得している。</p> <p>【思考・判断・表現】 有機化合物の構造式などから、有機化合物の性質や反応性を推測できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 未知の知識や実験技術に対して、協働的に解決しようとしている。</p>
3	単元6	10	中間・期末	<p>【単元名】 芳香族化合物</p> <p>【目標】 芳香族化合物について学習し、ベンゼン環をもつ化合物の特徴と性質について理解する。</p>	<p>芳香族化合物について学習し、それぞれどのような性質を示し、生活にどのように活用されているかを理解する。 例題や問題演習、実験を通して、理解を深める。 課題などをFormsなどをICTを活用して行う。</p>	<p>【知識・技能】 芳香族化合物の基礎的な知識を獲得している。</p> <p>【思考・判断・表現】 有機化合物の構造式などから、有機化合物の性質や反応性を推測できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 未知の知識や実験技術に対して、協働的に解決しようとしている。</p>

令和6年度(3学年用)年間授業計画 都立農業高等学校全日制課程

教科		理科			単位数	年間授業時数(予定:単位数×35時間)		
科目		応用生物			2	70時間		
対象学年組 第3学年 1組、 2組、 3組、 4組、 5組								
使用教科書 第一学習者 生物								
科目:「応用生物」の目標, 評価方法								
		【知識及び技能】			【思考力、判断力、表現力等】			【学びに向かう力、人間性等】
目標		生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。			自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。			自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を身に付けている。
評価方法		定期テスト 小テスト 単元テスト			定期テスト ワークシート 実験レポート			ワークシート 実験レポート
学期	通し番号	配当 時数	定期 考査 範囲	単元名・目標	指導項目・内容			評価基準 (おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述)
1	単元1	15	中間・期末	【単元名】 生物の進化 【目標】 生物の進化をその起源、細胞、遺伝子の変化や組み合わせや変異などについて理解する。	授業にて説明する。 例題や問題演習、実験を通して、理解を深める。 課題などをFormsなどをICTを活用して行う。			【知識・技能】 生物の進化をその起源、細胞、遺伝子の変化や組み合わせや変異などについて理解している。 【思考・判断・表現】 生物の進化に関して問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 未知の知識や実験技術に対して、協働的に解決しようとしている。
1	単元2	15	中間・期末	【単元名】 生物の系統と進化 【目標】 生物の系統について学習し、進化との関連性を理解する。	授業にて説明する。 例題や問題演習、実験を通して、理解を深める。 課題などをFormsなどをICTを活用して行う。			【知識・技能】 生物の進化をその系統と分類との関連性について理解している。 【思考・判断・表現】 生物の進化に関して問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 未知の知識や実験技術に対して、協働的に解決しようとしている。
1	単元3	15	中間・期末	【単元名】 細胞と分子 【目標】 細胞と分子について学習し理解する。	授業にて説明する。 例題や問題演習、実験を通して、理解を深める。 課題などをFormsなどをICTを活用して行う。			【知識・技能】 細胞と分子について理解している。 【思考・判断・表現】 細胞と分子に関して見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 未知の知識や実験技術に対して、協働的に解決しようとしている。
1	単元4	15	中間・期末	【単元名】 代謝 【目標】 代謝のメカニズムを理解する。	授業にて説明する。 例題や問題演習、実験を通して、理解を深める。 課題などをFormsなどをICTを活用して行う。			【知識・技能】 代謝について理解している。 【思考・判断・表現】 代謝に関して見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 未知の知識や実験技術に対して、協働的に解決しようとしている。

3	単元 5	10	中間・ 期末	<p>【単元名】 遺伝情報の発現と発生</p> <p>【目標】 遺伝情報の発現と発生について理解する。</p>	<p>授業にて説明する。 例題や問題演習、実験を通して、理解を深める。 課題などをFormsなどをICTを活用して行う。</p>		<p>【知識・技能】 遺伝情報の発現と発生について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 遺伝情報の発現と発生に関して見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 未知の知識や実験技術に対して、協働的に解決しようとしている。</p>
---	---------	----	-----------	---	--	--	---

令和6年度(3学年用)年間授業計画 都立農業高等学校全日課程

教科	保健体育	単位数	年間授業時数(予定:単位数×35時間)
科目	生涯スポーツⅡ	2	70時間

対象学年組 第3学年

使用教科書 現代保健体育

科目:「生涯スポーツⅡ」の目標, 評価方法

	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
目標	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようになるため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて試行し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、後世に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。
評価方法	観察(技能など) テスト レポート ワークシート	観察(学習、ペア・グループ活動など) テスト レポート ワークシート 振り返り	観察(学習、ペア・グループ活動など) 生徒による自己評価や相互評価

学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	単元名・目標	指導項目・内容	評価基準 (おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述)					
1	単元1	2	中間・期末	<p>【単元名】 オリエンテーション</p> <p>【目標】 運動時のルールや行い方の理解を深め、運動を他者と協働的に行うために自らの役割を果たせるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業オリエンテーション ・教材、1台端末の活用方法 ・各種目実施上の留意点 	<p>【知識・技能】 ルールや競技特性を理解している。 技能習得に向け継続的な努力を実施している。 集団に対して貢献する姿勢</p> <p>【思考・判断・表現】 技能習得に対し自ら工夫をしている。 基礎体力向上に向け、課題を設定できる。 客観的に自分を判断し、目標を設定している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ”ねばり強い”気持ちを持ち、精神力・持久力を高めようとしている。 集団の中の自分を分析し課題を設定し取り組んでいる。</p>					
1	単元2	26	中間・期末	<p>【単元名】 レクリエーションスポーツ 球技・水泳</p> <p>【目標】 様々なスポーツを企画することを通して、～それぞれの競技特性について理解する。また、学んだ知識を生かし、より良い授業作りを考える。授業の運営がスムーズにいくよう協力しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業作成、運営 ・授業の反省と次回への課題解決 ・ルールや競技特性 ・基本的な個人技能 ・基本的な集団技能 	<p>【知識・技能】 ルールや競技特性を理解している。 技能習得に向けた教材研究をしている。 集団に対して貢献する姿勢</p> <p>【思考・判断・表現】 生徒役に対して技能習得を促す工夫をしている。 生涯に渡りスポーツを楽しみ、継続させられるよう課題を設定できる。 客観的に自分を判断し、目標を設定している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 授業者になった際の教材研究をし、生徒役に粘り強く教授しようとしている。 集団の中の自分を分析し課題を設定し取り組んでいる。</p>					
2	単元2	36	中間・期末	<p>【単元名】 レクリエーションスポーツ 球技・水泳</p> <p>【目標】 様々なスポーツを企画することを通して、～それぞれの競技特性について理解する。また、学んだ知識を生かし、より良い授業作りを考える。授業の運営がスムーズにいくよう協力しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業作成、運営 ・授業の反省と次回への課題解決 ・ルールや競技特性 ・基本的な個人技能 ・基本的な集団技能 	<p>【知識・技能】 ルールや競技特性を理解している。 技能習得に向けた教材研究をしている。 集団に対して貢献する姿勢</p> <p>【思考・判断・表現】 生徒役に対して技能習得を促す工夫をしている。 生涯に渡りスポーツを楽しみ、継続させられるよう課題を設定できる。 客観的に自分を判断し、目標を設定している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 授業者になった際の教材研究をし、生徒役に粘り強く教授しようとしている。 集団の中の自分を分析し課題を設定し取り組んでいる。</p>					

3	単元 4	6	中間・ 期末	<p>【単元名】 レクリエーションスポーツ 球技</p> <p>【目標】 様々なスポーツを企画すること を通して、～それぞれの競技特 性について理解する。また、学 んだ知識を生かし、より良い授 業作りを考える。授業の運営が スムーズにいくよう協力しようと している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業作成、運営 ・授業の反省と次回 への課題解決 ・ルールや競技特性 ・基本的な個人技能 ・基本的な集団技能 		<p>【知識・技能】 ルールや競技特性を理解している。 技能習得に向けた教材研究をしている。 集団に対して貢献する姿勢</p> <p>【思考・判断・表現】 生徒役に対して技能習得を促す工夫をしている。 生涯に渡りスポーツを楽しみ、継続させられるよう 課題を設定できる。 客観的に自分を判断し、目標を設定している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 授業者になった際の教材研究をし、生徒役に粘り 強く教授しようとしている。 集団の中の自分を分析し課題を設定し取り組んで いる。</p>
---	---------	---	-----------	---	---	--	---